



図書館



建築中の新棟



管理棟



研究棟



講義棟



キャンパスモール

開設10周年を迎えた葛飾キャンパス

葛飾キャンパス開設10周年
経営学部創設30周年
第18回ホームカミングデー開催!

Contents

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 2 増淵理窓会会長 新年挨拶 | 12 卒業生だより |
| 3 浜本理事長・石川学長 新年挨拶 | 14 支部だより |
| 4 葛飾キャンパス10周年記念事業 | 18 経営学部創設30周年 |
| 6 株式会社富田製作所の紹介 | 19 研究室紹介 |
| 8 2023ホームカミングデー開催報告 | 22 TUSベンチャーエコシステム |
| ・周年祝賀会・講演会 | 23 寺尾壽 没後百年記念 企画展 |
| ・坊っちゃん科学賞、他 | 25 年賀広告 |

2024 謹賀新年

あけましておめでとうございます



理窓会 REBORN

校友会理窓会 会長 増淵 忠行 (1968年 理学部 物理学科卒)

東京理科大学校友の皆さま、新年明けましておめでとうございます。
皆様にとって希望に満ちた、新しい年をお迎えのことと存じます。

2023年を振り返り

2023年は理窓会にとって節目の一年で、様々な変革にチャレンジしました。特に、会則の大改正やそれに伴った代議員総会、第2回アジアフォーラム、そして18回目を迎えたホームカミングデーなど、皆様との絆をより深める活動に努めました。これらの変化は、理窓会が次のステージに進むための準備の年であったと考えています。その取り組みの一部を簡単にお話いたします。

会則改正

理窓会会則の大改正は、理窓会の目的や運営に関する基本を見直し、より適切な修正を加え、整えました。会の名称はこれまで「理窓会(東京理科大学同窓会)」でしたが、卒業生だけでなく教職員や在学生も会員なので「東京理科大学校友会理窓会」と改称しました。また本部役員は代議員を兼務しないことにしました。さらに代議員総会の議長を理窓会会長から代議員が行うこととしました。その理由は、理窓会の活動を代議員に審議してもらう唯一の機会と考えたからです。そのため、昨年の代議員総会の議長を福井支部の山下秀雄支部長にお願いし、公正な立場で進行され議案全て承認されました。

海外活動

ヨーロッパに支部を作ろうと活動し、まだ少人数ですがイギリスに海外支部の一つとして「英国理窓会」を立ち上げました。ドイツやフランスに出向されている方々を探してみましたが、まだ設立に至っていません。理科大卒業生が大勢ヨーロッパで活躍されていると思いますので、本部に情報提供をお願い致します。また、3月にはマレーシアのクアラルンプールで第2回アジアフォーラムを開催しました。マレーシアから理科大に留学し、マレーシアに戻って活躍している方が大勢おられます。その皆さんを代表し、マレーシアの大学で教鞭を取られている Mohd Ambri Mohamed 教授に理科大留学経験者会

の会長に就任していただきました。上海理窓会の会長も留学経験者で日本と中国の架け橋になって活躍されている葉 維英さんに代われ、海外の校友との交流が一層前進しました。今後さらに連携を深め、国際的な視野を広げ、母校のグローバルな発展をサポートしていきたいと考えています。

ホームカミングデー

18回目を迎えたホームカミングデーも「Back to the HomeComingDay」と名づけ、神楽坂を拠点に4年ぶりに対面で実施しました。多くの皆様のご協力とご参加により成功だったと思います。大学主催での「卒業50周年祝賀会」は神楽坂キャンパスと野田キャンパスでの開催となり、約700名の方が卒業50周年を祝っていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

支部総会

新型コロナの影響が続く中、各地での支部総会も開催され、支部の活気が戻りつつあります。しかし、後継者も不足していると指摘されており、今後も支部との連携をより強化し、理窓会全体の発展に結びつけたい。

2024年度に向けて

2031年に母校は創立150周年を迎えます。理事会が提唱されている「TUS VISION 150」や「中期計画2026」を参考に、母校の発展を支援する取り組みを進めてまいります。また、予算管理の見直しや情報発信の改革も重要なテーマとして、より効果的かつ効率的な活動を目指します。理窓会ルネサンスから理窓会REBORNへ。

最後になりますが、皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。理窓会は皆様のご支援、ご協力に支えられています。共に力を合わせて、素晴らしい母校と理窓会の未来を目指してまいりましょう。どうぞよろしくお願いたします。



学校法人
東京理科大学 理事長
浜本 隆之

新年あけましておめでとうございます。理窓会の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類へ移行し、各キャンパスにも従前どおりの活気が戻ってきました。同窓の皆様の集いの場であるホームカミングデーは、実に4年ぶりに神楽坂キャンパスにおいて対面型で実施され、多くの方に足を運んでいただきました。「卒業50周年祝賀会」には4学年の皆様をお招きしましたが、時が流れても変わらぬ活気あるキャンパスの姿を楽しまれた方も多かったのではないのでしょうか。

葛飾キャンパスは昨年で開設10周年を迎え、9月に開催された記念式典には200名あまりの方にご来校いただきました。めまぐるしく情勢が移りかわる現代において、10年の歩みというものは誠に感慨深いものであります。

また、野田キャンパスでは、昨年、理工学部から創域理工学部へと名称変更しましたが、学部・学科の枠を超え、新しく理学と工学の先端研究領域を自ら創り出そうとする「創域」の考えは、まさに本学の教育研究を体現するものです。

近年の学部学科の再編を経て、本学は、理工系の総合大学として、4つのキャンパスに、7学部33学科もの組織を有しています。今後も学部・キャンパスが有機的に連携し合うことで、それぞれの特長をより高めてまいりますので、ご期待いただければと思います。

また、現在進行中の「中期計画2026」において、同窓の皆様との連携強化を重要な施策の一つとして打ち出しています。その一環として、同窓教員との連携強化のためのメーリングリスト「TUS Linkage」の運用を開始し、全国の中学、高校で活躍されている同窓教員の皆様に対して、高校生が興味を持つ情報、授業で役立つ内容、理科大の最新情報などを発信しています。その他様々な施策を通じ、同窓の皆様との絆を一層深めてまいりたいと考えています。

本年も理事会・学長室・教職員一同、一丸となって努力してまいりますので、今後も引き続き一層のご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願いたします。

末筆ながら、皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



東京理科大学 学長
石川 正俊

新年明けましておめでとうございます。理窓会の皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお

慶び申し上げます。

現代は科学技術が社会の変革を牽引する時代であると言えます。本学の建学の精神である「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」の志を体現し、質の高い教育・研究、優秀な人材を社会に送り出していくために本年も全力で取り組んでいく所存です。

現在、科学技術の構造は大きく変化してきています。従来の構造は与えられた課題や問題を解決する方法を主体とするものでしたが、現在はそれに加え、解決すべき課題が与えられていない、あるいは課題が顕然化していない状態から全く新しい価値を創造する価値創造型の構造も必要となっています。そのような中で、教育や大学の在り方も変化していく必要があります。大学での学びが知識の習得だけでなく、知識を使って何ができるのか・何をするのか、独創性を生むものでなくてはなりません。また、大学は新しいことを生み出す拠点でなくてはなりません。

本学は学部・学科再編をはじめ、新しい価値を生み出す力を育むための融合型の教育に取り組んでいます。この融合型の教育の実践により、学問分野を超えて連携し、独創性を育み、社会に新しい価値を創造していける人材を輩出していけると確信しています。

また、2024年度入試では、「総合型選抜(女子)」を導入しました。本学が目指す「世界の未来を拓くTUS」を実現するためには、様々な人材が集積する環境の構築が不可欠です。また、価値の創造には多くの視点や感性が大事な要素です。今後、本学が多様な学生が学びあう場となるよう環境を整備してまいります。さらに、2025年度には薬学部、薬学研究科が葛飾キャンパスに移転します。先端融合分野を研究する「イノベーションキャンパス」から、分野を横断した融合・連携をさらに生み出し、新たな教育・研究拠点の創出に繋がることを期待しています。

理窓会の皆様におかれましては、引き続き本学の発展にご期待いただき、本年も変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願いたします。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

葛飾キャンパス開設10周年記念 事業が開催されました

2013年の葛飾キャンパス開設から今年で10年の節目を迎えたことを受けて、本学と周辺地域の更なる発展を見据える好機とするため、2023年9月24日(日)に、本学葛飾キャンパス図書館3階大ホールにて「東京理科大学葛飾キャンパス開設10周年記念事業」を葛飾区関係者、地域関係者、本学関係者など、約200名の皆様にご来場いただき、開催されました。



式辞・祝辞・来賓紹介

初めに、浜本隆之理事長、石川正俊学長から式辞があり、続いて、青木克徳葛飾区長、峯岸良至葛飾区議会議員からご祝辞を頂戴しました。その後、ご臨席いただいたご来賓の方々のご紹介がありました。



浜本 隆之 理事長



石川 正俊 学長



青木 克徳 葛飾区長



峯岸 良至 葛飾区議会議員

第一部：地域連携の視点からの講演

これまで培ってきた葛飾区と本学の連携関係を踏まえ、連携事業の内容、効果、今後の取組み、お互いへの期待について、本学関係者並びに地域の関係者による次のような講演がありました。

最初に、工学部建築学科 郷田桃代教授が登壇し、「地域に開かれた大学を目指して」と題して、葛飾区との連携の全体像や同学科の取組みなどについて講演しました。

続いて、葛飾区教育委員会 小花高子教育長が登壇し、理科好き子どもの育成や、区民の生涯学習の取組みを行うにあたっての本学への期待などについてご講演いただきました。

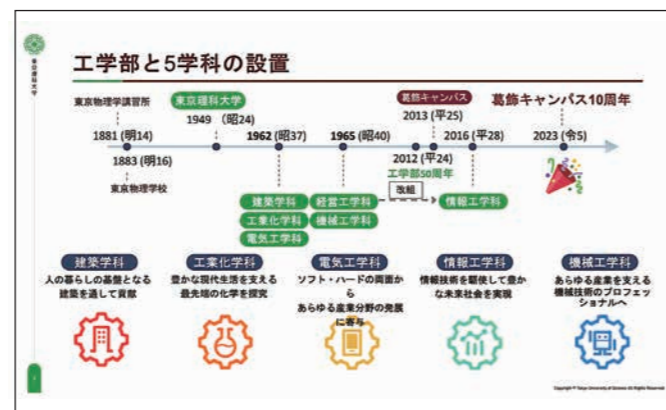
最後に、東京商工会議所葛飾支部 商業卸売分科会 副分科会長で、カインズ株式会社 代表取締役社長の金子高一郎様が登壇し、「葛飾区産学公連携推進事業進捗と今後の展望」と題して、産学公連携の概要とこれまでの歩み、今後の具体的な展開などについてご講演いただきました。

第二部：教育研究の視点からの講演

葛飾キャンパスの開設以来、本学並びに地域の発展を担ってきた工学部・先進工学部の両学部長が講演しました。最初に、工学部長の近藤行成教授が登壇し、「工学部の教育研究」と題して、同学部の歴史やこれまでの取組み、学科間の有機的なつながりなどを中心に講演しました。



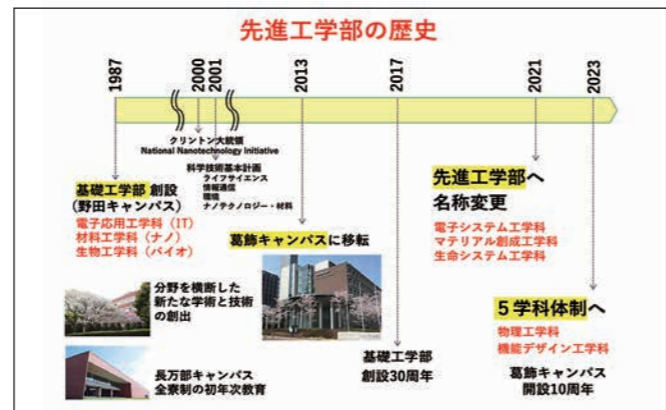
近藤 行成 工学部長



続いて、先進工学部長の田村浩二教授が登壇し、「先進工学部の歩み」と題して、基礎科学と先進工学の学問領域の知見をもとにイノベーションをデザインすることを掲げた学部教育内容を中心に講演しました。



田村 浩二 先進工学部長



本事業を機に、東京理科大学、葛飾区、周辺地域のそれぞれが、ますます発展していけるよう、今後もお互いに連携し、次の10年に向けて様々な取組みの更なる深化と新たな展開を図ってまいります。

葛飾キャンパスの変遷

本学には4つのキャンパスがあります。

最も歴史を持つ神楽坂キャンパス、広大で緑豊かな敷地を誇る野田キャンパス、札幌と函館の中間に位置する北海道・長万部キャンパス、そして、神楽坂と野田の中間に位置し、3キャンパスの知と技の創造ネットワークの構築に大きな役割を担うべく、2013年4月に開設されたのが葛飾キャンパスです。

「葛飾にいじゅくみらい公園」と一体となっているこのキャンパスは、三菱製紙(株)中川工場の跡地に開設されました。損紙を蒸して再生する「地球窯」は今も公園内にあり、製紙産業の文化遺産として当時の名残をとどめています。



地球窯

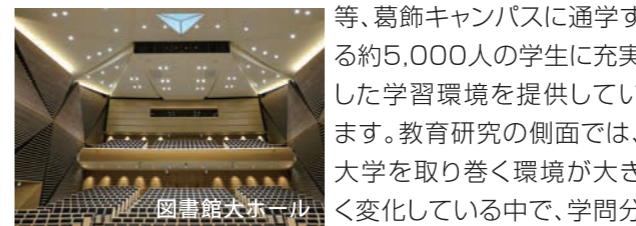
東京理科大学葛飾キャンパスの変遷

葛飾キャンパスは、入口に門やフェンスがなく、誰もが気軽に大学を訪問できるようになっている“地域密着型”の「学園パーク型キャンパス」として開設されました。

学生食堂や図書館も、近隣にお住まいの方が利用できる等、研究・教育機関としてだけでなく、地域住民の憩いの場や地域活性化の拠点としても機能しています。近代的な佇まいの図書館には、約13万冊の蔵書や、多くの自習スペース、グループ学習ができる多目的ルームも備える



図書館

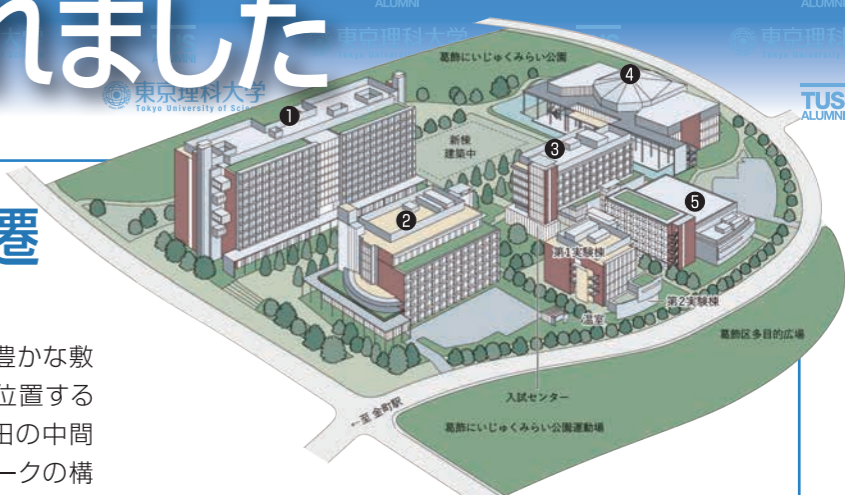


図書館大ホール



図書館内部

等、葛飾キャンパスに通学する約5,000人の学生に充実した学習環境を提供しています。教育研究の側面では、大学を取り巻く環境が大きく変化している中で、学問分野を横断的に融合し、協調しながら新たな課題解決策を見出し、それにより社会の持続可能な成長に貢献するために、多様性や機動性



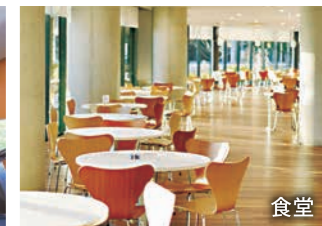
①研究棟 ②講義棟 ③管理棟 ④図書館 ⑤体育館

を確保した組織となるべく、学部学科の再編を行っています。近年では、2021年度に「基礎工学部」が「先進工学部」に名称変更するとともに、既存の3学科も学科名が変更となりました。これは先進・融合領域で新たな価値を創造する学部としての位置付けを明確にするためです。2022年度には「工学部工業化学科」が神楽坂キャンパスから葛飾キャンパスに移転し、2023年度には「理学部第一部応用物理学科」が「先進工学部物理工学科」に改組するとともに、新たに「機能デザイン工学科」が先進工学部に新設されるなど、時代に即した再編を行っています。

キャンパス施設紹介(上図と下写真参照)



メインアリーナ2ジム



食堂



体育館



葛飾区未来わくわく館

2025年度には、現在野田キャンパスに所在する薬学部について、学外機関との連携を強化し、高度な薬学教育と先進的な研究を行うことを目的に葛飾キャンパスに移転する予定です。そのため、現在新棟を建設中です(表紙写真)。

新棟の1階はオープンな構成でキャンパスから公園への視覚的な繋がりを創り、低層階には公園に面した眺めの良いラウンジを設置するなど、多彩な場を用意します。建築面積3,500㎡、延べ面積38,000㎡の地上11階・地下2階の建物となる予定です。

このように、キャンパス開設から10年を経過して、今もお進化する東京理科大学ですが、今後も葛飾区や周辺地域との連携を継続し、次の10年に向けて、お互いがより発展していけるよう、種々の取組みを行っています。

「厚板精密板金加工世界一をめざして！」

世界最大級の16,000トン・プレス機を武器に 「良質な製品を通じて社会に奉仕！」



富田製作所 取締役社長

富田 英雄 (とみた ひでお)
理工学部機械工学科 1981年卒

プロフィール

- ・東京理科大学評議員2013年～
- ・理窓会「坊っちゃん賞」受賞2015年
- ・株式会社富田製作所代表取締役社長2016年～

◆東京理科大での思い出

学生時代は、自宅からは原付バイクに乗って20分程で野田キャンパスに着いていた。学生の多くは地方出身者で、キャンパスの近くに下宿していた。大勢の友達に恵まれ、毎晩のように寝蔵を変えながら、酒を交わしたり、人生を語りあったりして青春を謳歌していた。その友人たちと厳しい定期試験の対策を練りながら勉強や旅行もたくさんすることができた。当時は夢と希望に満ち、何の不安の無い楽しい時代だった。

◆富田製作所の誕生 1956年

1951年(昭和26年)に、勤めていた鍛冶屋から、父(大八郎)はハンマー一本で独立した。仕事は焼け跡に転がっている鉄兜を拾ってきて、ハンマーで叩きフライパンや鍋などをつくらせたり、鉄屑を叩いて農具や器具を



【創立当時の四ツ木工場】

つくっていた。1953年に葛飾区四ツ木に工場を建てた。この頃から仕事は軌道に乗りはじめ、社員は少しずつ増えてきた。私が生まれた1956年に鍛冶屋を「富田製作所」と登記したのは独立してから5年後のことである。

◆富田製作所へ入社 1982年

父が経営する鉄工所で働く前に、父の知人の伸銅品問屋に1年間勤務した。その後父の経営する富田製作所に入社した。小さな町工場ですが、「板金加工世界一の信用と信頼のある良質な製品を通じて社会に仕え奉る」という理念を掲げ、「板金加工世界一に成る為には、世界一の道具が必要!」と、父は私の入社を待って、当時世界最大級の一万トン・プレス機を発注した。お客様からも「責任持てないよ!」と言われ、従業員からも反対されたが、失敗しても、この設備は残るし、それを上手に動かす従業員も残る。そして私は、裸一貫の元

に戻るだけ!」と言い、個人と会社の全財産を抵当に入れ、一家離散覚悟の挑戦にでた。そこで、「理学の普及を以て国連発展の基礎とする」理科大の「建学の精神」を垣間見る事ができた。1983年に10,000トン・プレス機が導入され、鍛冶屋職人の父の技と理科大で学んだ基礎知識、創造性と開拓者精神を融合させて、命がけで精度の高い鋼管を成形する技術の研究を重ね、JIS認証を取得し、厚板大径鋼管メーカーへと歩み始めた。



【プレス機による極圧鋼材曲げ加工】

父は、第2次大戦中に、日本海軍が開発した「イ号401」潜水艦に搭載された攻撃型飛行機の整備兵を担当し、世界最先端技術に接していたこともあって、板金加工世界一になることと道具への執着心が強かった。その後、バブル景気で当時主力業務だったコマツ(旧:小松フォークリフト)のフォークリフトの部品の生産台数が3倍以上に増えた。そのため生産設備を無人フォークリフト、搬送ロボット、溶接ロボットやマシンングセンターを融合したFMS(フレキシブル・マシナリー・システム)を構築した。人を増やさず理科大で学んだ基礎知識、創造性、開拓者精神を発揮して、お客様にも大変喜ばれた。しかし、大径鋼管は、大きな場所を必要とするので、工場は直ぐに手狭となり、既に70歳を超えた父の一言で、社会に直接貢献できる製品を作る工場に着工することになった。

◆つくば工場の竣工 1994年

いざ土地探しとなると中々良い候補地が見つからなかった。そんな中、古河工場から車で30分程の下妻市に土地を見つけ、多くの困難を乗り越え20億円の予算で工場及び設備導入を行う事になった。そんな中、父の体が悪くなり社長を辞任し、長男の大治郎が2代目の社長に就任したが、私が一人で20億円の設備投資の責任を担う事になった。しかし、20億円の借金の重圧と責任からの孤独感と恐怖心で一杯だった。

元々、大径鋼管は大手高炉メーカーやその関連会社の領域で、大型プレスの曲



【羽田空港第4滑走路支える鋼管杭】

げ加工は、造船会社の多い関西より西側の瀬戸内海に集中していた。そんな勢力圏も知らず無謀な挑戦でした。仕事はほとんどない為、寝る暇を惜しみ毎日朝礼で、「まず、モノづくりより、人間としての心づくりだ!」と心に言い聞かせた。2年以上の努力を重ねた結果、徐々にお客様からの信用と信頼を頂き仕事が増えてきた。

特に飛躍することができたのは、羽田空港第4滑走路の棧橋杭の仕事だった。そこは、多摩川が東京湾に注ぎ、魚の絶好な産卵場を守る為に総量1万トン、パイプ本数が1,500本の鋼管杭で滑走路を支える仕事で、弊社の経営理念に一致し、社会に貢献できる仕事だと考え受注活動を行った。最大の難題は、Φ1,600*長さ9メートル(展開長5m*9m)の鋼管の素材を内陸にあるつくば工場に運ぶ道具を開発する事でした。試行錯誤を繰り返し、斜め台車を完成させ、特許を取得し、ぎりぎり受注する事ができた。

◆東京スカイツリーへの挑戦からの縁

昼夜交代の臨戦態勢の作業の中、今度は、東京スカイツリーの36,000トンの自重を支える鼎(かなえ)柱(Φ2,300*板厚100mm*Lm)の製作依頼が舞い込んできた。大変厳しい品質と納期要求であったが、スカイツリーの建つ業平は、母の生誕地でもあり、何より世界一高い電波塔であり、父の入れた世界一の10,000トン・プレス機を活かす絶好の仕事で、避けては通れない「地図に載る仕事」だった。受注金額以上の設備投資を行い、厳しい納入検査に合格し、正月休みも二日間だけの厳しい納入対応だった。大変厳しい品質保証を要求する日建設計の設計担当者より「とても丁寧な



【東京スカイツリーの鼎柱】



【東京八重洲口グランルーフ】

モノづくりをしていますね!」と言われ、それまでの苦勞が癒された。また、その後、同じ日建設計の部長より東京駅八重洲のグランルーフのデザイン重視の柱や梁の相談を受け受注する事になった。後日、グランルーフの大屋根には、当時藤嶋学長の純白さを保つ光触媒技術が使われ、理科大の技術との融合であり、嬉しく感じた。更に出雲大社の「勢溜の大鳥居」の相談が有り、かつて「大阪天満宮」と「走って福男を決める西宮神社」の鳥居の製作実績が認められ受注した。また、その出来栄が、神社仏閣の第一人



【出雲大社の勢溜の大鳥居】

者の馬庭設計事務所の社長に認められ、地元の茨城の鹿島神宮の授与棟や御手洗池の大鳥居に携わる事ができた。この様に、鉄の力強さと精悍さを素地のまま活かし、神々しい文化芸術にも貢献できたのも、ひとえに人の縁と「品質と技術の富田」の信用と信頼の力であると実感している。

◆更なる16,000トン・プレス機への挑戦を乗り越え

しかし、当時は、2008年のリーマンショックや2011年の東日本大震災が起こり、製造業は歴史的な円高や電力不足等の「六重苦」と言われ、主力のコマツの仕事は大幅に減産となった。そんな中、修(弟)が3代目の社長に就任し、「世界一になるには、実質世界一の16,000トン・プレス機を導入したい!」と唱えた。今度は、年間売上以上の30億円の投資に挑戦する事になった。これまでの実績でお客様からの知名度も上がり、また信用信頼も得ることができ、竣工式には茨城県橋本知事はじめ多くのお客様に列席を頂き、修社長は元気一杯で輝いていた。その1年半後に3代目の修社



【16,000トン・プレス機】

長の急死があり、2016年に4代目社長に就任したものの、会社は実質4期連続の大幅赤字経営だった。銀行からは虐められ、その膨大な借金の個人補償と経営の立て直しをしなければならず、正直生きている心地がしなかった。

ここで救ってくれたのが、父から受け継いだ「経営理念」を基に「富田製作所は何のために、誰の為にある会社なのか?」の原点に立ち戻る事だった。社会の貢献の為には先ず、「社員を幸せにする会社」にすることを目指した。そうした取り組みもあり、徐々に業績も回復してきた。

◆現在は洋上風力発電事業への取り組みへ

2021年に「令和3年戦略的基盤技術高度化支援事業」に採択され、洋上風力発電設備(洋上風力タワー)の基礎支柱となる大口径鋼管の「継手方法」に関する研究をした。鋼管と鋼管のつなぎ目の接合に機械式継手方式を茨城大学や産業総合研究所の協力を仰ぎながら研究を進めた。その成果を風力発電設備の支柱に生かしたい。すでに14基の風力の基礎用鋼管を納入が完了し、新たに25基分の製作に着手している。

また大口径鋼管は日本一高い超高層タワー「麻布台ヒルズ」のメインの柱にも使用されている。このように板金加工技術の富田は、現在も「企業は、人なり」で、人を活かす教育に取り組み、大勢の人の和(多様性)を活かし、スタッフや従業員の協力を得て、企業が成長していくことを学んでいる。



【洋上風力発電タワーの例】

2023年度東京理科大学ホームカミングデー開催報告

10月29日(日)に2023年度の第18回ホームカミングデーが開催されました。コロナ禍も落ち着き、今年度は4年ぶりに神楽坂キャンパスでの対面開催となりました。理窓会関連団体や各支部の皆様からのご協力をいただき、様々な講演、展示、エンタテインメントが開催されました。対面での開催に伴い、4年間停止していた、卒業50周年記念祝賀会を10/29,11/5,11/25に分け、1970年～73年の4年間の卒業生の皆様を迎えて開催

いたしました。また10年20年30年40年の周年記念の懇親会も開催され、大勢の皆さんにご家族連れでご参加頂きました。久しぶりに東京理科大学の現在の姿をご覧いただくと同時に、浜本隆之理事長からの「東京理科大学の現況」の講演後、近代科学資料館見学が行われました。東京物理学講義所から始まる理科大の歴史的な写真などを閲覧された皆様方からご好評をいただきました。今回の開催にご協力いただきましたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

HCD実行委員長 佐々木健夫(理・応化1989)

2023ホームカミングデー4年ぶりの現地開催

今年は4年ぶりの現地開催となり、本部は期待と不安のなかでしたが、来場者が2,300名となり、滞りなく終了したことで安堵しました。ここに、ご来場の皆様ならびにスタッフの方々には厚く御礼申し上げます。この2年間での初めてのオンライン開催の経験を活かし、理窓会ホームページでは一部イベントの動画を公開中(動画コーナー)です。

さて、今回初めて4年分まとめて行った招待懇親会は

50周年(682名)と40-10周年(96名)で、同窓会出合いの広場には14団体290名が集いました。このほかイベント参加は70団体にのぼり、展示については前回の会場設営と異なり、教室内什器移動および復旧を安全のため本部の作業に加えました。

振り返って、今年は1月から企画を始動し、開催まで10か月を要しました。とはいえ、十分な準備期間とは言えず、達成の志はまだまだ道半ばです。そうして来年に向けた構想はもう始まっています。

HCD実行委員会本部長 山崎晃弘(理工・建1976)

卒業50周年祝賀会開催される



1970年卒



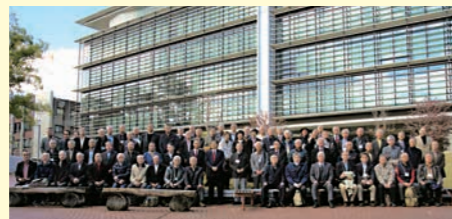
1971年卒



1972年卒



1973年卒



野田1970・1971年卒



野田1972・1973年卒

卒業40・30・20・10周年懇親会



卒業40周年懇親会



卒業30周年懇親会

卒業20周年懇親会



卒業10周年懇親会

第14回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト(高校部門)

2023年11月12日(日)代表校5校によるコンテストが神楽坂キャンパスで行われた

1. コンテストまでの経緯

2023年度はコロナ禍が終息する中で、優秀賞校5校による発表とコンテスト参加校へのライブ配信により開催された。

全国88校の高校から221件の論文が寄せられ、分野別の内訳が物理46件、化学53件、生物80件、地学9件、数学21件、情報12件であった。分野別審査を9月9日(土)に同窓の中学高校の教育関係者で実施し、優良入賞論文を選出した。さらに大学の先生方に総合審査を行って頂き、各分野から優秀論文を選出し、5校によるコンテストとなった。



論文を選出した。さらに大学の先生方に総合審査を行って頂き、各分野から優秀論文を選出し、5校によるコンテストとなった。

2. コンテスト

コンテストは11月12日(日)神楽坂キャンパス2号館211教室を会場として、午後1時より4時まで開催された。



3. コンテストの結果

◎最優秀賞

・フィボナッチ数を係数とする多項式の零点について
開智未来高等学校(埼玉) 住吉 莉玖

◎優秀賞

- ・おむつ灰からのセスキ炭酸ナトリウム合成～西条市のゴミ削減を目指して～
愛媛県立西条高等学校(愛媛) チームおむつ灰
- ・ヒキガエルの色彩パターンを用いた生態研究
東京都立科学技術高等学校(東京) 科学研部
- ・慣性モーメントが変化するフライホイールを用いた風力発電
愛媛県立松山南高等学校(愛媛) フライホイール班
- ・ミツバチの飼育に有用な微生物を添加した機能性代用花粉の開発
大阪府立園芸高等学校(大阪) ハニービーサイエンスクラブ

4. コンテストを終えて

やはり対面方式の発表会は、臨場感に溢れ発表する生徒らの顔は、緊張感の中、懸命にプレゼンする姿に感動できた。指導に携われた顧問の先生方に感謝するとともに生徒の皆さんの意欲に敬意を表します。結びに審査をして頂いた理科大の先生方にお礼申し上げます。

※今回のコンテストの様子は、理窓会ホームページから動画でご覧になれます。是非、ご覧下さい。



受章の栄

第115回 新年茶話会で表彰される方々

(敬称略)

叙勲・褒章受賞者

| | | | |
|-------|-----------------|-------|--------|
| 森口 泰孝 | 東京理科大学元副学長 | 瑞宝重光章 | 2023年秋 |
| 菅野 隆二 | 1973年 工学部工業化学科卒 | 旭日単光章 | 2023年秋 |
| 峽合 憲三 | 東京理科大学名誉教授 | 瑞宝中綬章 | 2023年秋 |
| 本阿彌真治 | 東京理科大学名誉教授 | 瑞宝中綬章 | 2023年秋 |
| 小林 駿介 | 1955年 理学部物理学科卒 | 瑞宝中綬章 | 2022年秋 |
| 浜名 康栄 | 1967年 理学部化学科卒 | 瑞宝小綬章 | 2023年秋 |
| 宮崎 仁志 | 1974年 理学部化学科卒 | 瑞宝小綬章 | 2023年秋 |
| 宮崎 幸久 | 1970年 薬学部薬学科卒 | 瑞宝双光章 | 2023年秋 |
| 神居 隆 | 1977年 理工学部数学科卒 | 瑞宝双光章 | 2023年春 |
| 樋上 雅博 | 1979年 理工学部建築学科卒 | 黄綬褒章 | 2023年秋 |

第26回 理窓会坊っちゃん賞

| | |
|-------|---------------|
| 川手 鮎子 | 1965年 薬学部薬学科卒 |
| 坂本 功 | 1966年 理学部数学科卒 |

参与記

| | |
|-------|------------------|
| 井手 義道 | 1963年 理学部物理学科卒 |
| 柿本 自如 | 1970年 理学部応用物理学科卒 |
| 金子 康法 | 1970年 工学部経営工学科卒 |

HCD海外支部交流会の開催報告

今年は、対面・ビデオ会議で交流会を開催しました。各国支部では、コロナ禍の影響で帰任者も多く新規メンバーの入会が求められる中、各地域ならではの集客や宣伝方法など具体的に議論がなされました。今後は本校への留学生の人数が多い韓国や台湾の支部立ち上げを計画していく予定です。海外支部理窓会にご参加希望の方は理窓会本部にご連絡ください。

各海外支部 状況報告

1.北加支部長 熊谷一清さん 対面参加

現在の登録メンバーは約40名。活動は、年2~3回BBQ会を開催、また毎年8月末に開催される日本の大学合同同窓会(20校250人規模)にも参加を続けている。母校からの留学生との親睦会の運営サポートを実施し、海外経験等を伝える場を設けている。

2.上海支部長 葉維英さん(11/4大野さん後任に) 対面参加

3年ぶりに5月に懇親会を上海で開催。30名ほどのメンバーが参加し、お互いの近況を楽しく話し合った。続けて11月4日総会を開催予定。2カ月に一度、ゴルフコンペや食事会を開催の予定である。

3.シンガポール支部長 尾崎美和子さん 対面参加

コロナ禍や就労ビザの規制によって卒業生が減少しており、現在では約20~30名と思われる。毎回の食事会には6名ほどが参加。また滞在者の母数も限られるため、他の理系

大学との合同同窓会などを企画していくことが主流になりそう。

4.インドネシア副支部長 佐々木幸嗣さん

メンバーは日本人約23名、現地人約27名計50名。コロナ禍でも毎月食事会、3か月に1回のゴルフコンペを開催している。また現地の交換留学プログラムの卒業生が多く、もう少し拡大できると感じる。

5.タイランド支部長 長谷場純一郎さん

登録メンバー20名程度だが、アクティブな会員は10名程度。仕事を介しながら卒業生を探しているが、苦戦している状況である。

6.ベトナム支部長 小林功典さん

昨年からの活動を再開し、人が増えてきていると感じている。登録メンバー20名で集まるのは普段10名ほど。久しぶりに11月に忘年会を開催予定。

7.英国支部長 石原敦さん

2023年3月に発足し、メンバー募集活動の一環としてのSNS利用を開始した。現在13名が登録。金融系・大学関連の卒業生が多いイメージ。

※本部参加者/増淵会長、近藤副会長、グローバル理窓会大谷会長、野村常務委員、山北常務委員、田畑欧州支部設立委員



対面参加の皆さん



ホームカミングデー4年ぶりの対面開催・出展・展示(一部紹介)

総合受付・抽選会・グルメ&物販



理窓会エンターテイメント



卒業生だより

さまざまな分野で活躍する理科大の卒業生たち。彼らの“今”を紹介します

Freshman

フレッシュマン

日本のものづくりを 世界に発信

宇津野 啓子 (うつのけいこ)さん (理工・数2012)

株式会社神戸製鋼所 マーケティングセンター グローバル推進部勤務

大学時代

数学の教員を志望し、数学科に入学しましたが、大学2年からキャンパス内で学部問わず行われていた「毎日の英会話」を3年間経験したことや大学3年時のカナダへの短期留学の経験を経て、「世界を見てみたい」と考えるようになりました。大学で英語の授業を受け持った教授にアドバイスを頂き、卒業後アメリカの大学のビジネスコースに7ヶ月間留学しました。留学中、現地のキャリアフォーラムで神戸製鋼所に会い、面接を進める過程で、ここなら「日本のものづくりを世界に発信したい」という想いを実現できると感じました。帰国後の最終面接で内定が無事に決まり、2013年4月に入社しました。

社会人になって

最初の配属先は、大阪の溶接材料の工場の生産管理です。ものづくりの現場に日々携わり、生産の工程(材料の調達、生産、出荷)を知ることができたのは、その後の異動先でも私の強みと自負しています。また馴染みのなかった関西で勤務できたことは、貴重な経験となりました。3年半の大阪で

の経験後、東京の今の部署に異動が決まりました。中国の化学工業機械の営業担当として、日々の現地営業活動のサポートを行い、1~2回/月の頻度で中国に行き様々なお客様を訪問しました。お客様からKOBELCOの製品を高く評価頂くことに喜びを感じ、そして大阪の工場で毎日見ていた製品が世界の至る所で使用頂いていることに誇りを感じました。中国担当から2年後、長女の出産の為に休暇を頂き、2歳差の次女まで約4年半の育児休暇を取得しました。今年5月から復職し、同部署の欧米担当をさせて頂いています。9月にはアメリカで開催された展示会出展のため、出張に行きました。

そして、現在

文化の違いや、様々な部署の方々と連携することを楽しみながら、業務を行っています。仕事と育児、家事の両立は毎日が綱渡りで大変なことも多いですが、家族・友人・職場の方々の多大な理解とサポートを頂きながら動かさせて頂いております。



活躍する卒業生

行動の積み重ねが 大志を育む

山口 拓己 (やまぐちたくみ)さん (理工・経営1996)
株式会社PR TIMES 代表取締役社長



「PR TIMES」サイトイメージ

私は、社名と同じサービス名でプレスリリースサイトを2007年に開始し、これまで(2023年8月末時点で)累計8万7千社、国内上場企業のうち55.6%に発信利用いただいています。最近ではありがたいことに母校である理科大をはじめ大学や行政機関にも利用いただき始めています。

大学時代

大学の専攻学科に「経営」という文字が入っているものの、大学を卒業する時には自分がその後上場企業の経営者になるとは思いませんでした。しかし今振り返ると、理科大の理工学部に入社して辺境の地で過ごした日々も、後に自主廃業する山一証券に入社したことも、すべては現在につながる重要な経験であり、何か一つが欠けても今の自分もPR TIMESもなかったと感じています。とはいえ、大学時代の私は優れた成績を収めていたわけではなく、落ちこぼれない程度のありふれた理科大生でした。大学の授業より塾講師のアルバイトに熱中し、夏期講習期間は朝から夜までぶっ通しで連日勤務。それでも留年せず4年で卒業できたのは友人に恵まれたおかげでした。試験の度にみんなで友人宅に集まって一夜漬けで勉強したり、大学の近くにあったフライパン(現在閉店)や新華楼などで友人たちと食事しながら他愛もない会話をしたりした何気ない日常が一番の思い出です。それでもインターネット超黎明期、公開されたばかりのWebブラウザ「Mosaic」に大学の授業で触れることができたのは、先端技術が社会実装されていく予感を抱く貴重な経験になりました。

社会へ

新卒で入った山一証券での配属先は福井支店でした。金融工学を多少学んだにもかかわらず、キャリアのスタートは地方の営業店。日経平均が週に4日下がる厳しい環境下で、株式投資を託していただく仕事。住宅地図を片手にエリア内全ての建物を訪問し、たとえ断られても、翌週もそのまた翌週も、同じ様に訪問するドブ板営業を経験しました。何度も足を運んでお客様になっていただいても、お客様の資産を減らしてしまう結果にばかりなっていました。そんな時の光明となったのが米NASDAQ市場でした。「Mosaic」の開発メンバーらが創業したNetscape Communicationsなどネット企業がNASDAQに上場して株式市場をけん引し、インターネットが革命のように社会を変えていく機運の高まりを感じていました。この頃に自分もいつかインターネットを活かした事業を立ち上げたいと思ったのを覚えています。しかし「いつか」と先送り思考だったあたり、当時の自分はまだ事業家の芽は眠ったままでした。

PR TIMES立ち上げ

PR TIMESを立ち上げたのは、当時私が取締役CFOを務めていた今の親会社が業績不振になったことがキッカケでした。業績が計画から大幅に下振れてしまい、目標にしていた

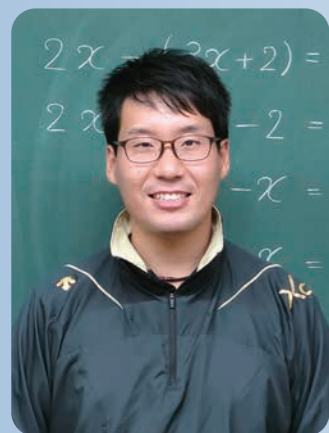
IPO(新規株式上市)を短期的には断念することになります。取締役とはいえ管理部門管掌の新参者。当時の事業に関与しても良い結果につながらないのは明白です。そこで、CFO業務を続けながら既存事業とシナジーが活かせそうなネットサービスを立ち上げることにしました。それがPR TIMESです。

山一証券時代にぼんやり思い描いたものを実現するのに、既に10年の月日が経っていました。しかも、すぐにうまくいくほど甘くありません。サービス開始後しばらくは低空飛行が続きました。浮上の兆しをつかんだのは2010年頃。スマートフォンの普及が大きなきっかけです。パソコンだけでなくスマートフォンでもインターネットを利用できるようになったことで、誰もがいつでもどこでもその場で情報を検索できるようになりました。さらにSNSを通じて情報が広がりやすくなりました。そもそもプレスリリースは生活者に大切な情報を届けるために生まれたものです。1906年、アメリカでペンシルバニア鉄道の脱線事故が発生した際に事故の詳細を公表し、The New York Timesに原本がそのまま掲載されたことがプレスリリースの始まりといわれています。プレスリリースはメディア向けの報道資料であるものの、PR TIMESを立ち上げたときから「生活者に役立つ情報を届けたい」というコンセプトはずっとありました。

使命感、そして大志へ

私たちが進むべき道が見え始めたのが、2011年、東日本大震災が発生したときでした。震災の影響で新商品の発売やプロモーション活動は次々と中止になり、プレスリリースの量は激減。私たちもプレスリリースの自粛を推奨しました。一方で、被災状況や募金活動、支援活動のことなど、生活者にとって必要な情報、届けるべき情報はたくさんありました。そこで、震災に関わる情報であれば無償でPR TIMESを利用いただけるようにしました。

この時の経験から、社会に価値がある情報を流通させるという使命感を育み始めることができ、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」というミッションを思い描けるようになりました。何か始める前に大志を抱けるのは素晴らしいと思います。私には経験がないのでうらやましい。しかし、私のように行動を積み重ねる中で生じる摩擦が熱を帯びて、志を温めていき、やがて大志と呼べるぐらいまで膨らんでいくのも良いと思っています。



Freshman

フレッシュマン

「教職との出会い」と 「授業で勝負できる教師」

神 章大 (じんあきひろ)さん (理工・数2014)

千葉県流山市立常盤松中学校勤務

流山市は都心へのアクセスや充実した商業施設、子育て世代への支援など数多くの魅力をもっている。人口の増加率も高く、ここ数年は毎年1・2校ずつ小中学校が新設されている。大学生活を振り返りながら、これから教師を目指す方々にメッセージを伝えたい。

大学での教職との出会い

青森県出身である私は大学から流山市に住み、数学科に在籍し、教職課程を受講していた。当時、教職概論の講義で伊藤稔先生(教授)との出会いが、教職の活動に参加することになった。同キャンパスで教師を目指す学生の代表となり、教員採用試験の面接練習などや新入生へのガイダンスの講師なども務めた。また、野田市の小学校との連携事業である「オープンサタデー理科クラブ」の企画にも力を注いだ。小学生に理科と数学の楽しさを伝えるべく、仲間と共に教材を開発し、指導案の検討と予備実験を何度も重ねたことをよく

覚えている。「子どもに理科と数学の不思議さ・面白さ・感動を伝えたい」という気持ちが原動力となった。その時の活動が現在の教師生活の礎となっている。

授業で勝負できる教師を目指して

教師として働いて10年が経過し、現在、勤務している常盤松中学校で3校目である。これまで学級担任や教務主任、部活動顧問、他市との人事交流などを経験し、たくさんの先生方と出会えることができた。私が出会った先生で、生徒からも同僚からも慕われていた方々には共通点がある。それは「授業が面白い」という点である。ハツとさせられる発問、ドキドキする教材で生徒を魅了していた。良い教師とは何か、と質問されたら、ずばり「授業で勝負できる教師」と答える。授業で生徒の興味や探究心を刺激することで、生徒は自ら考え、深く学び、成長に繋がる。

教職を目指す皆さんへ

大学で学んだ高い専門性を生かし、理科や数学を通して生徒を魅了する教師になることを期待している。

支部だより

北海道 一人一言で地元の幅広い情報を共有する

《北海道支部》 支部長：緒方 公(理工・数1976)
12名参加 日時：2023年9月18日(月)
会場：札幌ガーデンパレス

支部総会は、コロナ禍のため4年ぶりの開催となった。支部長挨拶、新役員、事業報告、決算・予算、及び規約の改正とほぼ満場一致で承認された。その後、懇親会に移り、安盛常務理事の代表挨拶、増淵理窓会会長の乾杯で始まり、杯を傾けながら、理窓会の活動や大学の改革など、参加者一同新鮮な気持ちで聞き入っていた。続いて、参加者の一人一言があり、楽しくも温かい雰囲気の中でのひとときであった。



宮城 「坊っちゃん」のモデルは宮城県人と紹介される

《宮城支部》 支部長：小島 博仁(理工・建1979)
30名参加 日時：2023年9月23日(土)
会場：仙台ガーデンパレス

令和3年度「坊っちゃん賞」受賞の阿部勝彦さんが盾を持参で受賞報告があり全員で祝った。夏目漱石の「坊っちゃん」のモデルは、東京物理学校を卒業し宮城県角田市の中学校の数学教師・関根萬司で、それを紹介したのが東大の漱石の教え子堀川三四郎であると紹介があった。紅一点参加された菅原ひろみさん(理・数1975)から学生時代のエピソードや故郷での教員生活など話され、「マドンナの会」らしく、もっと女性の参加促進に努めると結んだ。特別参加(招待)の祥子さんが熱唱した。和やかで活気ある懇親会でした。



山形 プロカメラマンの写真に感動

《山形支部》 支部長：五十嵐 慶三(理工・工化1977)
18名参加 日時：2023年10月21日(土)
会場：ホテル八乙女

総会では令和4年度事業報告、決算報告、令和5年度事業計画、予算が原案通り承認された。役員改選では、五十嵐支部長以下、変更なしで承認された。講演会では『人生を楽しく、写真も楽しく』の演題で現在プロカメラマンの横山哲夫氏(理・物1973)から講演があった。懇親会では8名が教育関係者で、山形県での教育について力強く話していた。山形市と仙台市とは交通の便もよいので宮城県ともっと親密に交流していきたい。



岩手 支部総会の前に情報交換会が行われる

《岩手支部》 支部長：佐藤 尚(理・数1979)
13名参加 日時：2023年11月11日(土)
会場：ホテルエース盛岡

最初の情報交換会では、藤枝和弘氏から「福岡高校でのICT活用紹介」の話があった。高橋匡之氏から「わくわく科学体験」科学教育全国研究会が北上市で開催された報告があった。その後、支部総会となりコロナ禍で4年間大きな活動が出来なかったとの報告と会計報告が承認された。また、2024年3月で現在の役員の任期が終了するが、活動が行われなかったことで1年延長することが承認された。その後の懇親会では会員のギター演奏や佐藤支部長のフルート演奏があり盛り上がった。



秋田 ハガキ作戦で2名の初参加

《秋田支部》 支部長：小松 正孝(理・数1976)
27名参加 日時：2023年10月14日(土)
会場：イヤタカ

4年ぶりに支部総会が開催できた。会員23名に、来賓の方々4名を加えて27名の参加でした。高橋知道氏(理工・建1989)による講演は、配布資料と画像をうまく組み合わせた説明で、大変分かりやすく内容の濃いものであった。活動の復活を心配したが、女性を含め27名の参加があった。楽しいメッセージ発表もあり大いに盛り上がった。ハガキ作戦によって、2名の初参加で会が活気づいた。今後は、年1回の総会と年2回の支部報発行を活動の軸としながら、若い会員の方々の発想を組み込んだ活動を目指す。



茨城 コロナ禍対応の取り組みを報告

《茨城支部》 支部長：山極 時生(理工・電1971)
30名参加 日時：2023年10月15日(日)
会場：水戸三の丸ホテル

4年振りの開催となった。総会議事としてはコロナ禍対応としてのオンライン副支部長会やHCDオンライン参加、支部Mail-address登録などの取り組みや会計報告等の審議が行われた。懇親会は最年長者(1955卒)の乾杯から入った。参加者全員からの近況報告を行った。若い方(2013卒)からの順番とし、若手からは各分野で活躍されている活気のある話、年配者からはリタイア後の生き方、学生時代の思い出など興味ある話題提供があり懇親会は盛り上がった。



千葉 若手教員と学生によるスピーチで盛り上がる

《千葉支部》 支部長：杉浦 雅美(理・応化1974)
40名参加 日時：2023年8月27日(日)
会場：ホテルポートプラザちば

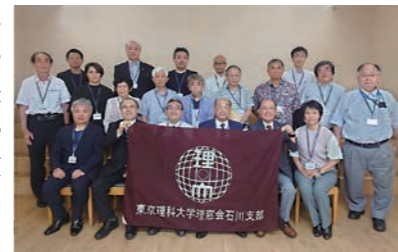
総会後に、兵庫常務理事から入試や学部等についての報告、石川学長からはビデオメッセージ、増淵会長は理窓会前名誉会長の塚本桓世様のご逝去について、山崎副会長からはHCDの説明があった。講演会は、都立日比谷高校前統括校長の武内彰先生に「日比谷高校での学校経営」についてのお話をいただいた。懇親会は祥子さんの歌と若手教員・学生によるスピーチで盛り上がった。葛田理事手づくり赤飯が全員に配られ好評であった。



石川 「私が赴任した8つの学校」の演題で講演

《石川支部》 支部長：柿本 自如(理・応物1970)
21名参加 日時：2023年8月19日(土)
会場：ANAクラウンプラザホテル金沢

本年は、「私が赴任した8つの学校」というテーマで星稜高等学校の倉本先生に講演を頂いた。その後、浜本東京理科大学理事長、上村理窓会副会長、こうよう会からは飯尾支部長、角出副支部長の役員の方々の参加の中、総会及び懇親会を開催した。総会では、柿本支部長挨拶、事業報告、会計報告・監査・役員改選に続き、浜本理事長から大学報告、上村副会長から理窓会報告があった。懇親会は、鈴木新支部長挨拶から始まり、久々に親交を深めた。



長野 「コロイド・界面化学が拓く未来」の講演

《信州支部》 支部長：飯田 洋市(理・数1989)
26名参加 日時：2023年10月15日(日)
会場：ホテルモンターニュ松本

総会は、ハイブリッドでZOOMによる配信も行った。会場には20名の参加があった。大学からは安盛敦雄常務理事、石川正俊学長(ビデオ)、理窓会本部からは上村直樹副会長の参加があった。例年通り物故者の黙とうから始まり、式次第に沿って進行した。講演会では信州大学の酒井教授(同窓)から「コロイド・界面化学が拓く未来～信州から世界へ、信州から宇宙へ～」の講演があった。懇親会では、出席者全員から近況報告などがあった。



富山 「山口東京理科大学の目指す姿」講演に聴き入る

《富山支部》 支部長：滝本 恒平(理・数1966)
30名参加 日時：2023年8月5日(土)
会場：富山地铁ホテル

滝本支部長の挨拶に始まり、来賓の樋上理科大常務理事、上村理窓会副会長から理科大の近況・状況のお話があった。約30名の参加者は熱心に聞き入っていた。総会終了後、山口東京理科大学の池北理事長が「山口東京理科大学の目指す姿」として講演され、山口県は物理学校創設者の1人の中村精男氏の出身地であり、理科大とのつながりなどを話された。その後、4年振りのアルコール有の懇親会で大いに盛り上がった。



山梨 理科大の高評価に誇りを感じる

《山梨支部》 支部長：奥村 一利(工・建1978)
7名参加 日時：2023年10月21日(土)
会場：ニュー芙蓉

本支部は、令和2～4年度まで、総会を中止していたが、4年ぶりに開催をした。来賓から東京理科大学と理窓会の近況や取り組み等々について聞いた。大学がひろく評価をされていることに同窓としてうれしく誇りに感じた。本支部も支部総会への参加者が少ない現状に悩んでいるが、理窓会でもそのことに対する取り組みをしていることに大いに期待し、取り組みに参加したいと思っている。支部総会終了後、短時間ではあったが、来賓の方々と支部会員が親しく懇談ができた。



静岡 活発な質疑応答で予定時間をオーバーする

《静岡遠州支部》 支部長：久保 修(理工・機1978)
27名参加 日時：2023年8月26日(土)
会場：グランドホテル浜松

第1部では、上村理窓会副会長を講師に迎え開催した。解りやすく、かつ大変興味ある記念講演でした。質問時間では聴講者と活発な質疑応答があり予定時間をオーバーした。第2部では、遠州理窓会役員より、新旧役員の紹介、昨年度の実施報告、今年度の計画、会計報告及び会則の改訂案をご報告し承認された。大学より樋上常務理事、石川学長(ビデオメッセージ)、増淵理窓会会長より大学の近況や情報の提供があった。最後に校歌斉唱と万歳三唱で盛況に終えた。



支部だより

静岡 理科大「実力主義」は世界標準に頷く

《静岡中部支部》 支部長：永田 和久(工・電1985)
22名参加 日 時：2023年10月14日(土)
会 場：静岡第一ホテル

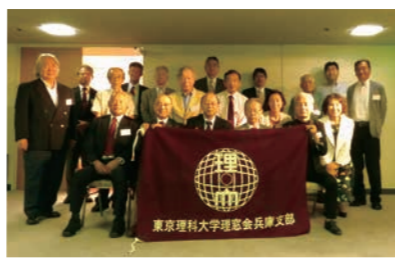
石川正俊学長や増淵忠行会長からビデオメッセージがあり、あたたかい言葉や、理科大の現状をわかりやすく説明があり感謝の気持ちで胸が熱くなった。佐々木健夫理事の挨拶の中で、「実力主義」は日本では厳しいとされているが、世界標準であること、研究や教育だけでなく、社会貢献をしていく大学であること、科学技術の発展で世界をリードする大学であることに頷いていた。懇親会では会員達の結束力を高めることができた。



兵庫 手話の学びに興味をそそる

《兵庫支部》 支部長：宮宅 勇二(理工・建1976)
20名参加 日 時：2023年10月1日(日)
会 場：兵庫県民会館

4年振りに兵庫支部懇親会(総会)を開催することができた。講演会では「皆さん、簡単な手話を学びましょう」という演題で竹中芳子氏の講演があった。出席者各自の名字を手話でどう表現するかを教わり、出席者は興味深く聞いていた。乾杯後兵庫常務理事の理科大の現況、石川学長のビデオメッセージ、上村理窓会副会長の現状と課題等の話があった。本部から提供を受けた兵庫県に住所のある会員名簿の活用で、3名の同窓生の参加があった。



沖縄 理科大の力強さを改めて実感

《沖縄支部》 支部長：岩切 喜一郎(理・化1975)
18名参加 日 時：2023年10月7日(土)
会 場：沖縄サンプラザホテル

理科大より兵庫明常務理事と増淵忠行理窓会会長の参加があり、4年振りに開催した。講演会では兵庫理事による「沖縄からの志願状況・組織変更など」、石川学長によるビデオレター「理科大の現状報告」、増淵会長による「理窓会の流れ」、特別ゲストとして、金子元教授による「理科大時代の思い出」などと、内容豊富で、理科大の力強さを改めて実感した。懇親会では、それぞれの自己紹介・近況報告に始まり、全員で校歌斉唱、何よりうれしかったのは、若い人材の参加があったことである。



2府・4県+三重県・福井県で合同支部会を開催

《関西理窓会連合会》 会 長：岡本 公爾(工・工化1973)
61名参加 日 時：2023年11月4日(土)
会 場：大阪キャッスルホテル

関西理窓会連合会では理窓会近畿2府4県に三重、福井を含め、こうよう会の皆様へもお声掛けして隔年で合同懇親会を開催しています。しかし、4年前に開催後は新型コロナの感染防止の為に開催を見合わせていました。今年は、大学より浜本理事長にもご参加いただき、同窓生歌手の祥子さんのミニライブショーなども企画し、多くの方々との楽しい懇談会を開催することができました。



鳥取 4年ぶりに対面は活発な情報交換会

《鳥取支部》 支部長：齋尾 宏伸(理・数1976)
7名参加 日 時：2023年8月19日(土)
会 場：倉吉シティホテル

本学安盛敦雄常務理事、増淵忠行理窓会会長の来賓があった。4年ぶりに対面での支部総会を開催した。大学の現状・理窓会活動報告の後、支部の会務報告・決算報告・事業計画案・予算案・役員改選などについて協議し、議案はすべて承認された。支部総会終了後にピンゴ大会を行い参加者全員に景品を贈呈した。その後の懇親会は、安盛常務理事の乾杯で始まり、和気藹々とした雰囲気の中、活発な情報交換が行われた。最後に遠藤副会長の乾杯で4年ぶりの懇親会は無事終了した。



広島 活動する同好会には支援金で応援

《広島支部》 支部長：前 眞一郎(理・数1977)
42名参加 日 時：2023年10月1日(日)
会 場：広島ガーデンパレス

支部長から、「同好会活動も更に活性化するために、同好会設立届を同封した。すでに活動をしている同好会は、些少だが支援金を拠出する。」とあった。来賓からは、本学の現状や理窓会の活動などの説明があった。懇親会では、6人ごとのテーブルに分かれ歓談をした。この一年「感動したこと」を織り込みリレー形式で1分程度の自己紹介などで各テーブルとも盛り上がっていた。また、活動している同好会からはスライドを使っての報告があった。その後、別会場で二次会を開催した。



長崎 長崎支部長退任・異義無く承認される

《長崎支部》 支部長：井手 義道(理・物1963)
11名参加 日 時：2023年11月12日(日)
会 場：佐世保ワシントンホテル

支部長挨拶の後に支部長を退任したい旨の挨拶があり、出席者全員、「異義なく退任が承認」された。後任については「理窓会会長預かり」となった。総会では会計報告等、令和4年度の会計報告書が配布された。

本学の樋上常務理事から理事会からの報告、学長ビデオメッセージ、理窓会会長のプレゼンなどがあった。浜副さん(理・数1965)の音頭で懇親会に入り、祥子さんのミニライブが披露された。



大分 美味しい料理を頼張りながら自己紹介

《大分支部》 支部長：開 憲明(理・数1965)
14名参加 日 時：2023年9月30日(土)
会 場：料亭「百膳の夢」

特に暑い中、別府の料亭「百膳の夢」で、支部総会・懇親会を開催した。来賓紹介後に本学の兵庫常務理事から理科大の実績と現状の話があった。増淵理窓会会長から大学・学生への支援と同窓会の活動実績と各支部の活動の報告があった。懇親会では、支部長から理窓会代議員総会の報告があった。大分支部もお茶のみ女子会、ハイキング、ゴルフ等の会をやりたいかと提案があった。ビールと美味しい料理を頼張りながら順次自己紹介で盛り上がった。



新支部長あいさつ

青森新支部長

村本 卓
(理工・電1983)



この度、青森支部長に就任致しました村本と申します。青森支部は、青森地区、弘前地区、八戸地区の3つの地区で活動を行っています。青森地区では、毎年8月に「おもしろサイエンス」を同窓生有志が開催しています。この活動で令和4年度坊っちゃん賞を受賞致しました。活動の様子は、支部HPでも紹介していますので、ご覧いただき、機会があれば会場にもお越しください。今後も地域での同窓生の活動を積極的に支援していきたいと思っております。

新潟新支部長

横尾 則幸
(理・数1984)



この度、新潟支部長に就任いたしました横尾則幸です。昭和59年に理学部II部数学科を卒業し、教職についております。さて、ようやく新型コロナウイルスも落ち着き総会を従来の形で開催することが出来るようになりました。他の支部活動も充実させ、会員相互の親睦を深め、活発な活動となるよう精一杯尽力いたしますので今後ともよろしくお願いいたします。

栃木新支部長

大武 功治
(理工・経工1975)



この度、栃木支部長に就任いたしました大武と申します。昭和50年理工学部経営工学科を卒業しました。現在の理窓会の参加者を考えますと、世代交代の時期かもしれません。いろいろな業種の方が出席されています。これからは、多くの方に参加してもらい楽しい理窓会にしていきたいと思っております。金子前支部長の時から、足利新能や小山の日本交響楽団や理科大卒の歌手の祥子さんのコンサート、ゴルフコンペなど開催していますのでコロナ対策しながら運営したいと思います。優秀な支部役員とともに、喜ばれる支部にしたいです。

石川新支部長

鈴木 啓泰
(理工・建1986)



このたび、理窓会石川支部長を拝命致しました鈴木啓泰(理工・建築S61卒)と申します。私は柿本前支部長他歴代の役員幹事のもと、長く支部を支えてきました。そのため、参加されている石川支部の方々には、あまり新鮮さはないかと思いますが、これからは、理窓会本部、他県の支部長様にもご指導を頂きながら、若い幹事と一緒に、楽しくて役に立つ理窓会石川支部総会を開催して、参加者を増やしていきたいと思っています。

奈良新支部長

山原 基裕
(理・応化1991)



この度、奈良支部長を仰せつかることになりました。大学卒業後も理科大の先生や諸先輩方には、理窓会の活動のみならず、仕事等の研究活動から私的な相談まで、多くの方々にお世話になって参りました。こうよう会の協力も得て若い卒業生の参加や、少しでも多くの支部員の支部活動の参加を推進するだけでなく、出身研究室等の同窓に対して理窓会各支部への参加を働きかけていきたいと考えます。大学関係者と諸先輩方に感謝すると共に敬意を表し、僅かでも母校の発展に寄与し、母校に恩返しができると思います。

経営学部創設30周年を迎えて

AI・非認知能力時代の求める新しい経営学

理工系総合大学だからこそできる文理共創の経営学の強み

東京理科大学 経営学部長 椿 美智子



経営学部創設30周年記念モニュメント

1. 時代変化による経営学の学問的要請に対する東京理科大学経営学部の発展の魅力

全国的に大学の経営学部を取り巻く社会的・産業的環境が急激に変化している。ChatGPTの登場により、人工知能(AI)は新しい時代をむかえ、また、Web3.0時代になり、NFT等が、医療分野、教育分野、金融分野、マーケティング分野等のビジネスを急激に変化させている。本学部は今年創設30周年を迎えており、創設された1993年から、理工系総合大学であるからこそ持つ知識の体系を生かし、数量的・実証的アプローチを積極的に活用して、文系・理系の枠組みを超えた新しい視点に基づく経営の理論と技法を教育・研究している。更に、AIやVR・AR、メタバース等の最新技術がハイスピードで開発され続けている中、それらの技術をビジネスにどのように利用できるのか、それによってビジネスの世界がどのように変わっていくのかを理解できる文理両方の視点を持った人材を育成することは非常に重要である。そのことを理解できなければ、このDX時代に成功するビジネスを真に推進する人材になることは難しいからである。

経営を科学することに応え30年前に経営学科が、ビッグデータの時代に2016年にビジネスエコノミクス学科が、先の見通せない難しい問題解決をしなければならない時代に2021年に国際デザイン経営学科が、時代の要請に応え先進的に創設され、それぞれに適した学問を推進しカリキュラムを整えてきた。まだ卒業年度を迎えていない学科もあり、いまなお発展し続けている。

2. 経営学科 (MS学科)

30年の歴史があり、経営戦略、会計・ファイナンス、マーケティングを学び、経営を俯瞰して捉え、戦略を立てられる構想力を開発し、解析により実証をしながら科学的経営のできる経営のプロフェッショナルを育成している。

3. ビジネスエコノミクス学科 (BE学科)

数理モデリングと人工知能やビッグデータを扱うデータサイエンススキルを学び、企業経営に必要な不可欠な経済理論を基礎に、ゲーム理論、オペレーションズ・リサーチ、金融工学などのデジションサイエンスによる解析・創出の力を養い、企業意思決定のスペシャリストを育成している。

4. 国際デザイン経営学科 (ID学科)

「デザイン」の観点からビジネスを捉える力「デザイン思考」「デザイン経営」と「デジタル技術」を用いて問題解決に繋がるプロダクトやサービスの開発能力を養い、共感力と論理力の高い「国際」的なイノベーションリーダーを育成している。

5. 理系から迫る文理融合型の経営学の強み

最後に、従来の文系から迫っている経営学とは異なり、理系から迫っている文理融合型の経営学の強みを示しておく。経営の分野のどのくらいの領域について、数理的なモデル、機械学



習的なモデル等に基づいて、精度の良い経営学的な予測や知識発見等を行うことが可能になるであろうか?その領域が増えていき、しかも、きちんとした解釈が可能となれば、理系から迫る文理融合型の経営学の強みと可能性が増してくる。

6. 未来を担う高校生の経営学部への進路選択へのアドバイス (理窓会の皆様へのお願い)

数学が得意な高校生はとて多い。そのときに従来の考え方であれば、理工系、情報系、あるいは医学系への進路を考えるケースが多かったと考えられる。しかし、高度な技術が急激に発達してきた現在の社会で活躍するには、数理的な力を持った上で経営学を学ぶことが、社会の情勢を的確に把握でき、予測・検証・解決型の経営学を身に付けることに繋がる。数学が得意な高校生の皆さんには、ぜひ経営学部を一つの選択肢として良く考えて欲しい。そして理窓会の皆様にも、社会のこの急激な変化に対応するために、「理系」「文系」だけでなく、時代の要請にいち早く応えて学問を進化させている第3の「文理融合型」の学部の存在価値を周りの高校生の皆さんに、お伝えいただければと思います。

この経営学部30周年特集記事の詳細は、科学フォーラムの437号をご覧ください。

URL <https://www.tus.ac.jp/d-pam/forum/2023/10/>



顧客の幸福感の傾向把握に基づくUXの創造やマネジメントの進化に関するマーケティング科学研究

椿 美智子研究室

東京理科大学
経営学部経営学科

椿 美智子 教授
(理・応数1984)

- 専攻分野：
経営情報学・マーケティング科学
- 研究分野：
Consumer Well-being
経営データサイエンス



②シビックプライドに関する研究については、1)渋谷区の小学生に、渋谷に対するシティープライドを高めながら、創造力もつような、AI等の新技術を使いつつ、算数、理科、社会、国語、英語、アート等を統合した授業を立案、計画、実施、提供し、将来、渋谷を起点に日本

研究室紹介

私は、1984年に本学理学部第一部応用数学科を卒業し、大学院工学研究科経営工学専攻の修士・博士課程に進学をし、国立電気通信大学に就職後、1990年に博士(工学)を本学(学位の主旨は本学経営学部初代学部長の奥野忠一教授)から授与されました。その後、ずっと、経営情報学を情報理工学系の視点から研究しておりましたが、実際に社会でマーケティング・消費者行動のビッグデータ分析を活かすには、もう少し、経営学寄りのところで研究を進展させた方が良いと考え、師匠の奥野先生が立ち上げた、母校の経営学部に戻って参りました。

かつては、時代背景的に、商品の品質が高いものを目標とし、性能の良い製品への満足度が購入の最大の決め手になっていましたが、現在は、品質がある程度高いことは当たり前となってきており、それを、生活の中で顧客が活かし、顧客の生活自身がWell-beingになり豊かになっていっているかに視点があてられ、商品が開発され、マーケティングが行われる時代となってきました。椿研では、このConsumer Well-beingに関する研究を行っています。

研究テーマ

- ①消費者が、日々のどのようなことに喜びを見出し、労力をかけて生活をしていて、どのようなことが購買・利用によって充たされると、人生満足度が高まるかの予測・実証研究
- ②そのためには、企業側は、どのような提供・お薦めをして行くと、社会・経済自体の発展があるかの研究
- ③シビックプライドを高めることによる、住んでいる地域を起点とした、子供・若者の成長や地域の産業の発展に関する研究

研究例

- ①Consumer Well-beingに関する研究については、1)幸福感を高める商品・サービスカテゴリーに関する研究、2)若者世代の消費活動に関する研究、3)百貨店顧客の幸福感の傾向把握に基づくUXの創造やマネジメントの進化に関する研究、4)メタバース・ショッピングの可能性に関する研究、5)フードデリバリーの進化に基づく現代の共働き世代の生活の豊かさへの影響に関する研究等

を進展させていってくれる児童の教育に関する研究、2)東京都檜原村の幸福感や地域力にはシビックプライドやリーダー、地域資源、森林産業等のどのような要素が関係しあって影響を及ぼしているのかに関するベイジアンネットワークモデリングによる研究等

学生への指導方針

卒論生以上は、社会に出た後の活躍のためにも、現実の社会や企業におけるデータを応用例として、アカデミックな仮説が実証できるようになった方がよいと考えています。しかし、演習データと実際のデータの分析には、格段の難易度の違いがあります。是非、一步一步階段を上るように実力を付けていって下さい。



ゼミの皆さんと共に

卒業生
コメント

増田 貴幸 株式会社NTTドコモ
(経営学部経営学科2022)

椿研究室では、Consumer Well-beingのテーマに対して、実際の企業と提携し得られたデータに対して、ベイジアンネットワーク分析、PLS-SEM、CatBoostモデルのSHAP評価やICE評価等、各テーマの学生がデータに適した様々な手法により、自ら立てた仮説の検証を行いました。研究室メンバーと共に議論し、分析・検証を繰り返して、考え抜いた結果得ることができた知見と論理的な分析力は、現職のマーケティング戦略立案業務へ直結しています。IT業界で働く中、近年のデータ活用の需要を実感しており、椿研で研究できたことに心から感謝しております。

経営学部 国際デザイン経営学科 Dept. of International Digital and Design Management (IDM)

違いを楽しみ、違いを活かす

中野 嘉子研究室

東京理科大学
経営学部国際デザイン経営学科

中野 嘉子 教授
(ジョージタウン大学 Ph.D.)

・ 専攻分野：
異文化コミュニケーション・国際日本学

・ 研究分野：
日本製品とサービスのグローバル化



飯器の形と機能を変えていきました。ローカル化です。現地の人と組んで、自分の「あたりまえ」と向き合うことは、グローバル化への一歩です。

また、エアラインでも、異文化への対応力はサービスの要です。今年、共編者として関わった本「憧れの感情

受賞歴 2021年度 外務大臣表彰
(日本と香港との相互理解の促進)

研究室紹介

私は理科大に着任して、まだ1年余りの「新人」です。子供の頃から、理科も数学もまるでダメな、文学部のベテラン教師でした。ですから理科大へ転職を決めたとき、周囲は呆気に取られていました。でも一番驚いていたのは、私自身です。

それまでの35年間は、海外にいました。アメリカの首都ワシントンに10年、香港に25年暮らし、香港大学文学部の日本研究学科で、食文化のクラスや、産学連携の教育プログラムを担当していました。

そんなある日、理科大に、2021年に国際デザイン経営学科(IDM)が新設されると伺います。そして、その「あたりまえ」に挑む姿勢にひかれました。

IDMがめざしているのは、分野や文化を超えて才能をつなぐ、プロデューサーを育てることです。世界は、やっかいな問題に溢れていて、これまで「あたりまえ」だったアプローチでは解決できないことが多々あります。そんな時、分野や文化の違いを人たちが力を合わせると、突破口が開けることがあるのです。

それには、心ある人たちに“コンフォート・ゾーン”といわれる、居心地のいい場所から出てきてもらい、それぞれの視点から、本音で意見を交わす場が不可欠です。今求められているのは、まさにこうした場を作り出せる人で、「異彩を束ねる、異才を育てる」というのが、学科のビジョンです。

IDMの学生たちは、「国際」「デザイン」「デジタル」「経営」の4つのゼミを、それぞれ1学期ずつ回ります。つまり卒業生は、スペシャリストというより、ジェネラリストになります。しかし、4つ分野を回るからこそ、身につく「力」もあります。問題の俯瞰力や、異文化への対応力です。

異文化への対応力は、長年に亘り、日本企業のグローバル展開を支えてきた力です。今から60年以上前、日本発の家電である炊飯器が、海外市場に出ました。香港では炊飯中にフタを開ける、イランでは釜に油をひいてお米を焦がすといったニーズを聞いて、日本人エンジニアは目を丸くしながら、炊

史—アジアの近代とく新しい女性>」では、今から70年前、戦後初となる日本の国際線就航時に行われた、プランディングについて、章を書きました。日本の顔となった、客室乗務員の女性たちに求められたのは、文化を行き来する対応力でした。

理科大は、女性教員の割合が14%ですが、IDMは38%。学生も女性比43%と、そんな意味でも新しい学科です。一期生が巣立つのは2025年になりますが、違いを楽しみ、違いを活かす、そんな場をデザインしてくれるよう、大いに期待しています。



IDMの3年生と共に

在学生コメント **伊藤 耀** 国際デザイン経営学科3年生

中野先生の授業では、日本や世界の文化等の論文や映像を交えた、端的で分かりやすい説明によって、グローバルな視点を養うことができます。先生の海外でのキャリアやエピソードが随所に盛り込まれており、受講しているととても興味が掻き立てられます。時折、通常ではお会いすることが困難なスペシャルゲストの方を交えたセッションが行われることも、授業の醍醐味の1つです。

「創域フォーラム～融合研究・連携研究の将来～」開催報告

2023年9月9日(土)、野田キャンパスにて開催され、約200名が参加しました。

「第1部 融合教育の将来」は創域理工学部 学部長 伊藤浩行教授の挨拶で幕を開けました。創域理工学部の教育・研究



伊藤 浩行 創域理工学部長の挨拶

研究にご参画いただいている企業の皆様に様々な角度から現在の課題、取り組み、ご自身の経験などをお話いただいた後、副学部長 滝本宗宏教授がモデレータとなり、「日本のIT産業が抱える問題と融合教育」についてパネルディスカッションが行われました。

「第2部 連携研究の将来」

前半は、「東京理科大学・野田市・流山市 包括連携協定講演会」が行われ、電気電子情報工学科 杉山睦教授が「科学技術×環境・農業:誰もがハイテク技術で次世代農業を実現!」をテーマに講演を行いました。

後半は、副学長 井手本康教授の挨拶、東京理科大学常務理事 兵庫明教授の本学の地域連携への取り組み説明の後、2023年4月に創域理工学研究科が設置したサステイナブルアーバンシティセンターの活動にご協賛いただいている企業の皆様とパネルディスカッションを行いました。副学部長 堂脇清志教授がモデレータとなり、「未来への価値創造」、「地域・産業への連携と貢献」、「共響を通じた体験(将来の人材育成)」をキーワードに、今後の協力体制と方針について意見交換が行われました。

子供たちのサイエンス体験学習が開催されました

2023年度サイエンスフェア「科学へのトビラ」開催

2023年10月8日(日)に、東京理科大学神楽坂キャンパスにて科学体験教室「2023年度サイエンスフェア『科学へのトビラ』」を開催しました。これは、本学の学生団体である「みらい研究室実行委員会」が中心となって、幼稚園児から小学生を対象に理工系全般にわたる様々な企画を行い、科学や技術の楽しさをお伝えするイベントです。

当日は本イベントに参加した本学の理学系・工学系の各サークル等に所属する学生団体の学生が、来場した約600人の幼稚園児や小学生に対して日頃の活動成果を披露し、科学の楽しさと魅力を分かりやすくお伝えすることができました。



参加者の皆さん

びっくり仰天実験



ロボットを動かしてみよう!



ケミカルクラフトスタジオ



宇宙世界への招待状



科学で感じる地球の姿

サイエンス夢工房開催

理大祭(11/24-25)の一企画として3キャンパスでサイエンス夢工房が開催されました。

サイエンス夢工房は、「子供たちに科学を体験する場を提供し、科学を身近に感じてほしい」との思いから本学教員有志の活動として始まり、30年近くにわたり地域の科学啓発に貢献してきました。現在では、本学の教員だけでなく、本学を卒業した中学・高校の理科教員や地域の科学教育センターなど様々な方に出席頂いております。

今回は、神楽坂地区10件、野田地区14件、葛飾地区17件と多数の参加があり41件の展示がされ、子供づれの家族の皆さんに楽しんで頂きました。それに関連して、野田では、記念自然公園・薬草園探索ツアー、神楽坂ではサイエンス研究室ツアーなどもあり、大変盛況でした。

神楽坂地区展示ブース



超電導コースターを走らせよう

人工イクラでスノードームを作ろう

キッチンサイエンス

野田地区展示ブース



蛍光ストラップを作ろう

不思議な蛍光顕微鏡の世界

生き物と色の不思議展

葛飾地区展示ブース



化学の面白さを体験しよう

人工ロボットと会話しよう

お札に隠された秘密を解き明かそう

東京理科大学ベンチャーエコシステム「TUSIDE」とビズリーチが連携

～大学発・技術系スタートアップの事業成長に貢献する経営プロ人材(副業・兼業)を募集～

2023年10月26日、学校法人東京理科大学(理事長:浜本隆之)、東京理科大学(学長:石川正俊)、東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社(代表取締役社長:片寄裕市)および東京理科大学イノベーション・キャピタル株式会社(代表取締役:片寄裕市、高田久徳)と株式会社ビズリーチ(代表取締役社長:酒井哲也)は、次世代の産業育成、地方創生およびSDGsの実現に向けた東京理科大学認定ベンチャーの創出を目的として、連携協定を締結しました。



左から片寄裕市、吉本成香、浜本隆之、南社一郎(ビズリーチ創業者)、石川正俊、高田久徳

本連携を通じて、東京理科大学ベンチャーエコシステム「TUSIDE(トゥーサイド)」から創出される大学発スタートアップにおける経営人材の求人可視化し、副業・兼業でのマッチングをはかることで、大学発シーズの社会実装の早期化を目指します。

東京理科大学は、本連携を通じて、東京理科大学関連ベンチャーを現在の170社(2023年9月末時点)から、2034年までに年間100社を創出するよう、拡大を目指します。またビズリーチは、東京理科大学を含め国内大学5校との連携協定締結を目標に、大学発スタートアップにおける副業・兼業での参画を推進し、新産業創出への寄与を目指します。

■日本経済の活性化のため期待される大学発スタートアップ

国内スタートアップへの投資額は2022年に9,459億円と過去最高額になりました。政府も「スタートアップ育成5か年計画」を発表するなど、日本経済の活性化に向けスタートアップの育成に力を入れています。そのなかでも、ディープテックを含む研究シーズの社会実装を目指す大学発スタートアップは、イノベーションの担い手として期待を寄せられています。また、ビズリーチが調査したところ、69.3%のビジネスパーソンが大学発スタートアップの仕事に興味を持っていることが分かりました。

しかし、大学発スタートアップ特有の問題は、研究者に伴走して起業や事業化をリードする経営人材が不足していることです。大学発スタートアップにおける経営人材の採用方法の約7割が知人・友人関係であり、その要因の一つは求人可視化されておらず、ビジネスパーソンがアクセスできる機会が限定的であることです。そこでこのたび、ビズリーチと東京

理科大学「TUSIDE」は、新たに連携を開始し、TUSIDEから創出された大学発スタートアップが求める経営人材の求人可視化し、副業・兼業でのマッチングをはかる取り組みを開始しました。

■ロボット技術でヘルスケア課題に挑む小林宏教授のベンチャー企業が、経営人材を副業・兼業で公募

取り組みの第1弾として、東京理科大学工学部機械工学科の小林宏教授が設立した株式会社CoreHealthで、経営企画を担うCOO候補、資金調達等を担うCFO候補、新たな市場の開拓を担う事業開発責任者を副業・兼業で公募しました。

■石川正俊学長 コメント

このたび、株式会社ビズリーチ様との間で連携協定を締結することとなり、大変喜ばしく思います。

東京理科大学では、本学における教育・研究に基づく技術・ビジネス手法を事業化する目的で設立された法人を「東京理科大学関連ベンチャー」と定義し、知的財産の活用、教職員や学生(OB・OGを含む)による設立、資金の調達等、幅広い観点でベンチャーの創出・支援に取り組んでいます。累積創出数は、2022年度には151件に達し、全国の大学中7位の実績を挙げています。今回のビズリーチ様との連携により、ベンチャーの創出・経営層の人材確保・成長支援などの一層の進展が期待できます。

本学はこれからも、わが国最大規模の理工系総合大学として、産学連携を基にした教育研究の高度化、成果の社会への還元を進め、わが国および世界の発展に寄与してまいります。

※「TUSIDE(トゥーサイド)」とは TUS Innovation Driven Ecosystemの略です。TUSIDEは、研究成果の知財化と事業化等を支援する「産学連携機構」を置く「学校法人東京理科大学」、起業支援イベントやインキュベーション施設を管理している「東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社」、ベンチャーへの出資などを担っている「東京理科大学イノベーション・キャピタル株式会社」の3法人からなるエコシステムです。3法人が学内外を問わず多様な協働、連携を行うことにより、大学発ベンチャーの創出を加速し、次世代の産業を生み出す取り組みを進めています。主体者である東京理科大学と、連携者群の両者が一体的にエコシステムを形成する意味を込めてトゥーサイド(Two side)と呼びます。

※「スタートアップ」とは、イノベーションを通じて人々の生活や社会を変革するために立ち上げられる組織のことです。

「寺尾 壽 没後百年記念 企画展」内覧会 及び企画展開催報告

2023年10月11日(水)、近代科学資料館において、「寺尾 壽 没後百年記念 企画展」の内覧会が開催され、寺尾 壽先生のご親族をはじめ、浜本 隆之理事長、石川 正俊学長、伊藤 稔近代科学資料館館長、招待者の計23名が参加しました。この企画展は、本学創設者のひとりであり、東京物理学校初代校長のほか、東京天文台初代台長等を歴任された寺尾 壽先生の没後百年を記念し、展示は12月23日(土)まで開催されました。

内覧会では、浜本理事長及び石川学長からの挨拶、ご来賓の齋藤正雄 国立天文台副台長からの挨拶があり、続いて記念撮影が行われました。



齋藤 正雄 国立天文台副台長

その後企画展示室へ移動し、伊藤館長による案内で、寺尾 壽先生の功績や展示品に関する説明がありました。



集合写真



内覧会の様子

寺尾 壽先生のご親族に展示をご覧いただきました。

近代科学資料館ホームページ
https://www.tus.ac.jp/info/setubi/museum/event_data/2023terao/2023terao.html



東京天文台初代台長 寺尾 壽

～星を見つめ、人を育てた、近代天文学の先駆者～

福岡県の士族出身の寺尾壽(1855-1923)は、東京大学で物理学を学び、パリのソルボンヌ大学に国費留学して天文学を学び、帰国後東京大学理学部星学教授となりました。また初代物理学校校長を務め、さらに1888(明治21)年発足した東京天文台の初代台長に任命され31年間務めました。



寺尾 壽

今回の企画展では、寺尾の生涯をたどり、交友のあった人々を紹介するなかで、近代天文学の基礎がどのように築かれていったかを探り、その後受け継がれる天文学の未来を紹介しました。

肖像画「寺尾 壽博士像」の紹介

1909(明治42)年に寺尾の東京大学在職25年を祝し、洋画家黒田清輝が描いた。「天文月報」第16巻第9号(寺尾壽追悼号)には、寺尾のサインを添えて掲載された。 東京国立博物館所蔵

子午儀

持ち運びが可能なもので、日本の各地の経度を決定するために使われたもの。(国立天文台所蔵)



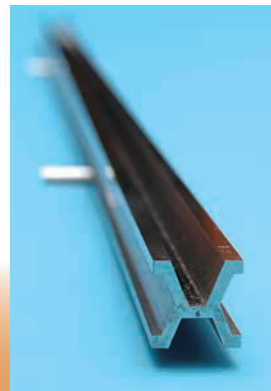
「天文月報」
 日本天文学会発行1923(大正12)年9月(第16巻第9号)(寺尾壽追悼号)表紙
 1908(明治41)年4月に発刊し、寺尾が発刊の辞を寄稿。現在も続く研究誌。

日本国メートル原器(No.22)

1890(明治23)年4月にフランスから日本に到着し、1960(昭和35)年まで1mの基準として用いられた。(産業技術総合研究所所蔵:国の重要文化財)

※展示はレプリカ。

特殊なX形のメートル原器について講義した明治30年頃の東京物理学校授業筆記ノートが、企画展準備中に近代科学資料館所蔵品の中から見つかり展示しました。



2023年度「理大祭」3キャンパスからの報告

第75回 理大祭
君の振幅ははかれない
Resonance
2023 11/24 Fri. 11/25 Sat.
神楽坂理大祭実行委員会

第75回神楽坂理大祭
実行委員会委員長 奥井 杏奈

テーマ「Resonance」
共鳴という意味の英単語です。来場者の皆様に、さまざまな企画や装飾との共鳴、言い換えれば感動の発見を、持ち帰っていただける学祭にしたいという思いを込めています。

学園祭委員会の活動目的
東京理科大学の神楽坂キャンパスで、学園祭である「理大祭」の運営。理大祭を通して理科大学の学生、地域住民、教職員、来場者などの様々な参加者が交流し楽しむ場の提供。

- 準備委員会人数 321名(10/31現在)
- キャンパスの学生は約7000人

・参加団体数 50 ・使用SNS X, Instagram
神楽坂理大祭一部紹介写真



野田理大祭開催
実行委員会委員長 新井 棕介

委員長あいさつ
今年度はコロナ禍以前と同等の規模で開催される運びとなり、私たち一同、大変嬉しく思っております。また、今年度は地域連携にも力を入れております。地域のイベントに積極的に参加し、地域の方々との交流を深めました。

テーマ「解法」
理大祭に参加いただく全ての方が一体となって最適解を導きたいという思いが今年度の理大祭テーマに込められています。

・参加団体数 学内83、学外13 合計96
感想 多くの人に支えられ、金土開催にも関わらず近年で最も多くの来場者を迎えることができました。団体さんや来場者の満足度も高く、みんなを笑顔にさせることができました。



葛飾地区 第11回理大祭
実行委員会委員長 池島 大雅

テーマ「New adventure」
11回目の開催に際して、周期表11番目のNaの2文字のアルファベットに対して、Newとadventureをあてはめ、昨年度のテーマ「扉」が開かれた先にある、新たな冒険の始まりをイメージした。両端の絶対値は消極的な出来事でもプラスに変えようの意味を込めました。

・参加者内訳 近隣学校の学童、幅広い年齢層の地域の方々にも多数参加頂いた。また理科大志望の中高生も沢山訪れていた。



準備の過程

- 準備委員会 現役委員約200人+OB・OG10人
- キャンパスの学生数 4000人
- 活動期間2023年1月～11月 総務局、企画局、広報局、経理局の4局でそれぞれ準備を進めた。
- 参加団体数 学内51、学外11 合計62

2024 謹賀新年

本年もよろしくお願いたします

| | | |
|---|------------------------------|--------------------------------|
| 学校法人東京理科大学 理事長 浜本 隆之 (工・電92) | 東京理科大学 学長 石川 正俊 | 理窓会 会長 増淵 忠行 (理・物68) |
|---|------------------------------|--------------------------------|

| | | | |
|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| 理窓会 名誉会長 山田 義幸 (理・化54) | 理窓会 顧問 石神 一郎 (工・建70) | 理窓博士会 会長 秋山 仁 (理・応数69) | 東京理科大学維持会 会長 酒井 陽太 (工・経工74) |
|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|

東京理科大学 理学部第一部

学部長 関川 浩
数学科主任 横田智巳
物理学科主任 徳永英司
化学科主任 由井宏治
応用数学科主任 松崎拓也
応用物理学科主任 宮川宣明
応用化学科主任 古海誓一

東京理科大学 校友会理窓会

会長 増淵 忠行(理・物68)
副会長
松原秀成(理・物70) 近藤 明(工・化73) 山崎晃弘(理工・建76)
佐野吉彦(工・建79) 横 誠司(理工・数83) 上村直樹(薬・製薬86)

常務委員
山下庫太(理工・物71) 岡本公爾(工・化73) 杉浦雅美(理・応化74)
昌子久仁子(薬・製薬77) 伊藤 稔(理工・数79) 大谷三喜男(工・化79)
並木 正(理・物80) 佐々木健夫(理・応化89) 瀬尾 隆(理・応数89)
大宮喜文(理工・建90) 小林 聡(理・数91) 松田 一朗(理工・電91)
野村香織(薬・製薬97) 松田 大(山・電2000) 内藤雅宏(経営経2001)
高尾圭一(薬・薬2008) 山北悠介(理工・応生2010)

監査委員
富岡康夫(理・化73) 浅子弘美(理・応数82)

東京理科大学 工学部

学部長 近藤行成
副学部長 池口 徹

建築学科主任 今本啓一
工業化学科主任 杉本 裕
電気工学科主任 阪田 治
情報工学科主任 寒水孝司
機械工学科主任 元祐昌廣

東京理科大学 理学部第二部

学部長 長嶋 泰之
数学科主任 佐藤 隆夫
物理学科主任 西尾太一郎
化学科主任 秋津 貴城

東京理科大学 創域理工学部・創域理工学研究科

学部長・研究科長 伊藤浩行 副学部長 滝本宗宏 堂脇清志

| | |
|-------------------|-------------------|
| 数理科学科 主任 牛島健夫 | 先端物理学科 主任 鈴木英之 |
| 情報計算科学科 主任 桂田浩一 | 生命生物科学科 主任 倉持幸司 |
| 建築学科 主任 兼松 学 | 先端化学科 主任 郡司天博 |
| 電気電子情報工学科 主任 松田一朗 | 経営システム工学科 主任 高嶋隆太 |
| 機械航空宇宙工学科 主任 高橋昭如 | 社会基盤工学科 主任 加藤佳孝 |
| 国際防災科学専攻 主任 桑名一徳 | |

東京理科大学 先進工学部・先進工学研究科

学部長・研究科長 田村浩二
副学部長 佐竹信一

電子システム工学科主任 谷口 淳
マテリアル創成工学科主任 菊池明彦
生命システム工学科主任 十島二郎
物理工学科主任 宮島顕祐
機能デザイン工学科主任 曾我公平

東京理科大学 薬学部・薬学研究科

学部長・研究科長 宮崎 智
薬学科主任 西川元也
生命創薬科学科主任 秋本和憲

東京理科大学 経営学部・経営学研究科

学部長・研究科長 椿美智子
経営学科主任 佐藤 治
ビジネスエコノミクス学科主任 照井伸彦
国際デザイン経営学科主任 飯島淳一
経営学専攻主任 青木英彦
技術経営専攻主任

東京理科大学 オープンカレッジ

社会人教育センター長 平川 保博

「社会人教育・リカレント教育拠点」として
ビジネス講座・一般教養講座を多数開講しています。

〒102-0072
東京都千代田区飯田橋4-10-1
セントラルプラザ2階
TEL 03-5227-6268(平日9:00~17:00)
FAX 03-5227-6263
URL <https://web.my-class.jp/manabi-tus/>

理窓会 北海道支部

支部会員一同
9/29(日)支部総会及び懇親会

理窓会 宮城支部

支部長 小島 博仁(理工・建79)
代議員 加賀谷秀樹(理工・物73)
副支部長 阿部 勝彦(理・化80)
副支部長 金 和宏(理・化84)

理窓会 秋田支部

支部会員一同

理窓会 茨城支部

支部長 山極時生(理工・電71)
代議員 皆見 操(理・応数77)
副支部長 県南 菊地和之(理工・数76)
〃 県西 谷田部佳見(理工・化77)
〃 県北 三村 靖(理工・電82)
〃 水戸 飯島義光(理工・機04)
〃 H P 森尾修一(理・応物70)
〃 会計 酒井洋満(理・物91)

理窓会 山形支部

支部長 五十嵐慶三(理工・工化77)
代議員 玉橋 博幸(理・化77)
代議員 武田 直子(薬・薬79)
代議員 笹原 智也(理・物99)

理窓会 千葉支部

支部長 杉浦雅美 (理・応化74)
副支部長 田村清志 (理工・数79)
” 鈴木隆文 (理・数79)
” 阿部隆之 (理・応物80)
” 大嶋良太 (理工・建83)
” 風戸 正 (理・数88)
相談役 眞田孝則 (理・化75)
顧問 水野 澄 (理・数65)
” 小倉正敬 (理・物69)

理窓会 愛知支部

支部長 二村菊久
代表幹事 天野 卓

理窓会 富山支部

支部長 滝本恒平 (理・数66)
代議員 高田正保 (理・応物70)
幹事長 中島範行 (業・製業84)
会計 池松耕二 (理工・電77)

理窓会 三重支部

支部長 立松忠博

理窓会 岡山支部

顧問 赤木 寛 (理・物57)
顧問 川上洋一 (理・数65)
支部長 三浦康男 (理工・数71)
副支部長 清水 男 (理工・工化75)

理窓会 東京支部

支部長 増田 律子 (理工・数77)
副支部長 島崎 益男 (理工・機70)
” 廣瀬 和昭 (理・数73)
” 半谷精一郎 (理工・電75)
” 稲垣 雅子 (理工・建79)
” 今村 彰啓 (理工・化80)
” 梅原たまき (理・応数89)
相談役 植木キク子 (理・物61)
” 松原 秀成 (理・物70)

理窓会 新潟支部

支部長 横尾則幸

理窓会 大阪支部

支部長 秋山茂夫 (理・応物72)
代議員 萩野隆司 (理工・建82)

理窓会 兵庫支部

支部長 宮宅勇二 (理工・建76)
代議員 上杉秀樹 (理・数86)

理窓会 鳥取支部

支部長 齋尾宏伸 (理・数76)
事務局 大森教雄 (理・応化93)

理窓会 高知支部

支部長 和田雅史 (理工・建81)
代議員 刈谷 聡 (理工・電82)

理窓ビジネス同友会

会長 山本幸央 (理工・経77) 理事 宮川公治 (理工・経73) 山成芳直 (理工・建86) 喜多泰祐 (理・数99)
副会長 坂本哲志 (理工・情95) 三浦善司 (理工・経73) 露木 聡 (理工・電87) 尾崎健介 (理工・経01)
岡本公爾 (理工・工化73) 酒井陽太 (理工・経74) 山鹿高資 (理・応物90) 増田庸司 (理工・経01)
米澤正晴 (理工・工化78) 森野義男 (理・化78) 滝澤直樹 (理工・経94) 片寄裕市 (理工・経01)
樽谷 隆 (理・化89) 望月克己 (理工・応生83) 岡本麻代 (理・化95) 秋澤幸太郎 (理工・機11)
追矢修司 (理・経97) 岡地富夫 (理工・数84) 岡本香里 (理工・経96)
理事兼事務局 菅原寛子 (MOT18) 監査 安田裕昭 (理工・経80) 浅子弘美 (理・応数82)
事務局 〒162-0825 新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂内 (<https://risou-business.com>)

東京理科大学 理窓教育会

会長 富岡 康夫 (理・化73)

参与 磯脇 一男 (理・数64) 伊藤 操 (理・物61) 坂本 功 (理・数66)
理事 會田 良三 (理・化68) 小久保正己 (理・数69) 澁谷 重雄 (理・数69) 松原 秀成 (理・物70)
齋藤 常男 (理・物71) 榎本 成己 (理・応物71) 長谷川純一 (理・物73) 廣瀬 和昭 (理・数73)
菅井 悟 (理・物73) 高橋 伯也 (理・数74) 田中 均 (理・数76) 並木 正 (理・物80)
竹村 精治 (理・応数76) 中村 信雄 (理工・応生80) 松本 明 (理・数82) 白田三知永 (理・数82)
坂野 直人 (理・化85) 柏木信一郎 (理・応数84) 川又 弘明 (理・物86) 平岡 盛仁 (理・数82)

謹賀新年 理窓会 群馬支部

支部長 富田 忍

理窓会 神奈川支部

支部長 戸上恵央 (理・数68)
副支部長 大嶋啓子 (理・数74)
” 樽谷 隆 (理・化89)
” 小泉隆志 (理工・電82)

理窓会 静岡支部

支部長 海野俊彦 (理・化80)
代議員 大野幸人 (理・化73)
東部会長 杉山邦宏 (理・数76)
中部会長 永田和久 (理工・電工85)
遠州会長 久保 修 (理工・機79)

理窓会 山梨支部

支部長 奥村 一利 (理工・建78)
代議員 橘田多喜夫 (理・物78)
事務局長 窪田 敏章 (理・化84)

理窓会 奈良支部

支部長 山原基裕 (理・応化91)
副支部長 西本成志 (理工・建01)
顧問 森西耕一郎 (理・物68)

理窓会 島根支部

支部長 福田 正

理窓会 長崎支部

井手義道 (理・物63)

理窓会 宮崎支部

支部長 坂元一貴 (業・薬81)

理窓会 沖縄支部

支部長 岩切喜一郎 (理・化75)
代議員 比嘉敏明 (理・化83)
事務局長 名嘉正光 (理・化85)
顧問 仲里恒雄 (理・物60)

理窓スマッシュ会

(II部ソフトテニス部OB会)

会長 常見達弘 (理・化2・91)

理窓技術士会

会長 山極時生 (理工・電71)
会員一同

理窓会 福井支部

支部長 山下秀雄 (理・物72)
代議員 末本 守 (理工・物76)
事務局 荒井広臣 (理・応数85)
H P 小林明男 (理・化75)
会計 古市恭也 (理工・建修95)

理窓会 信州支部

支部長 飯田洋市 (理・数89)
副支部長(筆頭) 谷 憲昭 (業・薬65)
” (中信) 浜野修一郎 (業・製業77)
” (東信) 大田一昭 (理工・数80)
” (南信) 高野嘉寿彦 (理・数86)
” (北信) 氷鉋麻紀 (調・経情08)
” (教育関係) 清水史明 (理工・建築88)
” (青年部) 白石恭之 (理工・経98)
” (情報管理) 下条千史 (調・経情19)
監事 大池義高 (理・数66)
” 大島政英 (理工・電気89)

理窓会 和歌山支部

支部長 佐藤 寛司 (理・応化05)
評議員 岡本公爾 (理工・化73)
代議員 久保田哲也 (理工・建79)
代議員 谷井 一好 (理工・土木84)
事務局長 貴志 真土 (理工・物01)

理窓会 広島支部

支部会員一同
支部長 前 眞一郎 (理・数77)
事務局 和泉知示 (理工・電気81)

理窓会 大分支部

支部長 開 憲明 (理・数65)
代議員 松崎忠史 (業・製業75)

関西理窓会連合会

会長 岡本公爾 (理工・工化73)
副会長 秋山茂夫 (理・応物72)
顧問 柴田眞一 (理・化60)
顧問 関川正文 (理・化60)

理窓会 高砂熱学支部

支部長 柴田 克彦

鹿島理窓会

(鹿島建設株式会社東京建築支店)

東京理科大学 数学教育研究会

名誉会長 澤田利夫 (理・数69)
名誉会長 池田文男 (理・数73)
会長 伊藤 稔 (理工・数79)
副会長 國清清明 (理・数79)
副会長 眞田克典 (理・数81)
副会長 加藤竜吾 (理・数84)
副会長 槇 誠司 (理工・数83)
副会長 春名秀夫 (理・数83)
事務局長 中川裕之 (理学部准教授)

行政書士理窓会

代表 今村彰啓 (理工・工化80)
副代表 亀谷俊一 (理・化81)
会計監査 橋本敏浩 (理・化90)

築理会

会長 石橋敦之 (理工・建81)

東京理科大学 少林寺拳法部OB会

幹事長 高木俊知 (野田工・電70)



賀正
鬼武みゆき (理・数87)
コンポーザー&ピアニスト
<http://www.onitake.com>

東京理科大学 薬学部同窓会

会長 上村直樹 (86)
副会長 武田直子 (79)
副会長 田畑 新 (79)
副会長 磯部総一郎 (85)
副会長 伊集院一成 (88)
副会長 真野泰成 (97)

結成25年目 理窓美術同好会

I部体育局硬式庭球部OB・OG会 理庭会

会長 十時康行 (理・物60)

東京理科大学 同窓経営者会

会長 田中達也 (理工・経80) 副会長 古矢元一 (理工・応生82)

謹賀新年

東京理科大学ホールディングス株式会社
代表取締役社長 尾垣文雄

東京理科大学
インベストメント・マネジメント株式会社
代表取締役社長 片寄裕市

東京理科大学アカデミックパートナーズ株式会社
代表取締役 尾垣文雄

株式会社TUSダイニング
代表取締役社長 能元勇治

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1丁目3番地
TEL 03(5225)2080

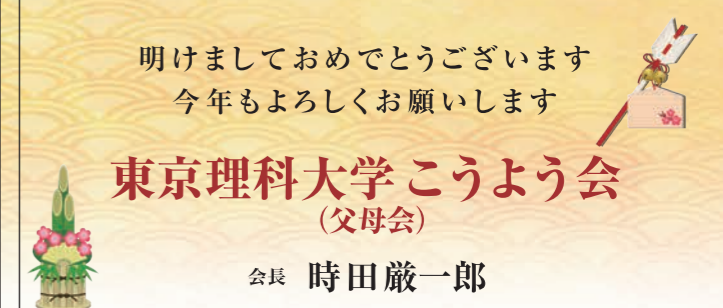
囲碁と憩いの場 理窓棋院

会長 今泉 精一 (理・建68)
事務局 shimizu-keiji@55.netyou.jp



御慶
桂 歌助 (理・数87)
<http://utasuke.com>

明けましておめでとうございます
今年もよろしくお祈りします



東京理科大学 こうよう会 (父母会)
会長 時田 巖一郎

東京理科大学 バスケットボール部 OB・OG会



R
II部山岳部OB会

東京理科大学 混声合唱団OB会

会長 濱塾克巳

アズビル理窓会
代表 渡邊賢佳 (理・応物82)

東京理科大学I部柔道部OB会 R 鶴志会

会長 柳川昌徳 (理工・建74)
副会長 久保正典 (理・数78)
副会長 牧野徹也 (理工・機79)
会計監査 田巻洋一郎 (理工・建76)

東京理科大学I部体育局柔道部
神楽坂顧問 佐々木健夫 (理・化学科教授)
野田顧問 明石重男 (理工・情報科学科教授)
師範 金子邦男 (理科大学元職員)
総監督 涌井利秋 (理工・建75)
監督 藤巻敏光 (理工・物81)

東京理科大学理工学部土木工学科 土質研究室 福岡先生の会

会長 川鍋 修
副会長 森本克則

東京理科大学I部体育局硬式庭球部 四部会

会長 乙川勝幸
副会長 河戸源基

東京理科大学理工学部土木工学科 土木五期の会

会長 青木 勇
副会長 村井重雄



迎春



祥子 (理・数90)
<http://www.shoka-crossmusic.com/>

《理窓会 会費納入のお願い》

【コンビニからも入金ができるようになりました!】

理窓会費の納入方法について

理窓会費の納入方法について、2024年1月より、郵便局での支払いに加えて、全国のコンビニからも入金ができるようになりました。また、ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行に直接振り込むこともできます。

理窓会の運営は皆様の会費のみを財源として運営されています。1年会費は3,000円です。まとめて30,000円を納入された場合は15年分の会費(長期会費)として取り扱い、オリジナルネクタイ等の記念品をお贈りしております。皆様の便利な方法で、会費納入について是非ご協力をお願いします。

《 所定用紙からの振込の場合 》

○『理窓』に同封された振込用紙で、コンビニまたは郵便局(ゆうちょ銀行)のどちらからでも振り込みが可能となりました。振込手数料は不要です。

○振り込みに当たっては、同用紙に記載されている貴殿の「最終納入年度」をご確認ください。過年度に振り込みがなかったときがあっても、当年度以降からの会費としてお取り扱いしていますので承知おきください。

《 振込用紙を使用しない場合 》

前述の所定の振込用紙を使用しないで理窓会費を納入いただく場合は、下記の振込口座にご入金ください。

この場合、振込手数料はご本人負担になります。

振り込みにあたっては、振込用紙に記載されている会員番号とお名前をご記入ください。

○ゆうちょ銀行 〇一九(せー)イイコウ店

口座名:東京理科大学校友会理窓会 当座:0000290

○三菱UFJ銀行 店番:052(神楽坂)

口座名:東京理科大学校友会理窓会 普通:0085356

同窓教員(TUS Linkage)サイト開設のお知らせ

2023年11月14日より、東京理科大学HP上に同窓教員の皆様に向けたサイトが開設されました。中高生の同窓教員を対象とした配信メール、同窓教員ネットワーク「TUS Linkage」(ティー・ユー・エス リンケージ)を閲覧することができます。なお、同サイトから同窓教員ネットワーク「TUS Linkage」にご登録いただけますと、東京理科大学が主催するイベントや先生方に有益な最新情報が随時メールで届きます。学校の授業にもお役に立つ情報も含まれますので、この機会に是非ご登録ください。

配信内容:ご登録いただいた教員の皆様には次の情報を随時お届けします。

- ①オープンキャンパスのお知らせ
- ②入試説明会のご案内
- ③大学案内
- ④会誌『科学フォーラム』
- ⑤東京理科大学学報
- ⑥授業の達人大賞のご案内
- ⑦坊っちゃん講座
- ⑧坊っちゃん科学賞
- ⑨高校生のためのサイエンスプログラム
- ⑩宇宙教育プログラムの情報配信
- ⑪「数学体験館」や「なるほど科学体験館」の予約 など

<https://www.tus.ac.jp/teachers/>



2024年度 理窓会本部主要行事予定

| | | |
|-------------------------------|-------------------|-----------------------------|
| 2024年度 支部長会・代議員会・ 同窓懇親会 | 2024年 6/23(日) | 神楽坂キャンパス |
| 第19回 東京理科大学 ホームカミングデー | 2024年 10/27(日) | キャンパス未定 |
| 第116回新年茶話会 | 2025年 1/11(土) | ホテル・メトロポリタン エドモント(未定) |
| 第12回 関連団体交流会・ 懇親会 | 2025年 3/15(土) | PORTA7階 第2会議室・ 理窓会倶楽部 |

2023年度 1月から3月で開催予定の支部総会

| 支部総会名称 | 開催日 | 開催都市 | 開催場所 | 開催時間 |
|------------|---------|-------|-----------------|-------------|
| 和歌山 | 1/27(土) | 和歌山市 | がんこ和歌山六三園 | 12:00~14:30 |
| 神奈川新年賀詞交歓会 | 1/27(土) | 横浜市 | ワークピア横浜 | 11:00~14:00 |
| 埼玉新年賀詞交歓会 | 1/28(日) | さいたま市 | 東天紅JACK大宮店 | 16:30~ |
| 香川 | 2/4(日) | 高松市 | 喜代美山荘 花樹海 | 16:00~20:00 |
| 岐阜 | 2/4(日) | 岐阜市 | ホテルリソル | 11:00~15:00 |
| 三重 | 2/17(土) | 四日市市 | プラトンホテル四日市 | 11:00~14:30 |
| 佐賀 | 2/24(土) | 佐賀市 | さがんれすとらん 志乃 県庁店 | 10:30~13:30 |
| 福井 | 3/23(土) | 福井市 | 福井フェニックスホテル | 13:30~ |

編集後記

本号では、新年号として増渕会長、浜本理事長、石川学長ご三方からの新年の挨拶を掲載しました。特集として、4年ぶりに対面で開催されたホームカミングデー、葛飾キャンパス開設10周年と経営学部創設30周年を取り上げました。コロナ禍の終息に伴い、各支部総会が数多く開催され、それに伴い支部長の交代も5件と多く行われました。同窓教員(TUS Linkage)サイト開設のお知らせは、将来に向けて明るいお知らせでした。

発行者 | 東京理科大学校友会 理窓会
会長 増渕忠行(理・物1968)

編集委員会

委員長/近藤 明(工・工化1973)

委員/齋藤常男(理・物1971)、前田光男(理・化1981)、伊藤 稔(理工・数1979)
松田 大(山口・電2000)

理窓会事務局

E-mail: risoukai@alumni.tus.ac.jp

ホームページ: <https://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp>

fb: <https://facebook.com/risoukai.tus>

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂6階 Tel:03-3260-0725 Fax:03-3260-4257